

東日本大震災に係る支援等実施状況調査 調査結果の概要

平成24年3月

はじめに

昨年3月11日に発生した、「東日本大震災」は、地震及び津波による、多数の死者・行方不明者、多くの家屋の損壊など、東北地方に甚大な被害をもたらしました。

また、震災に伴う福島原子力発電所事故も相俟って、東北地方のみならず、東京においても、多くの生衛業を営む方々が、建物・設備の被害のみならず、電力制限による売上減少等の二次被害を受けました。

しかしながら、都内の多くの生衛業は、各生活衛生同業組合の指揮の下で、義援金の募集や被災地への物資提供や現地への労力の提供など、被災地支援に積極的な取組みを行ってきました。

財団法人東京都生活衛生営業指導センターでは、平成20年度から、生衛業における災害時支援体制整備を推進するために、「災害時支援体制検討会」(八木憲彦委員長)を設置して、これまで区市町村との災害時支援における協定等の実施状況の把握や、災害時支援フォーラムの実施、災害時支援の基本的対応などの検討を進めてまいりました。

そして、今回は、これら東日本大震災における、都内の生衛業における被害状況の実態、被災地への支援状況の実態把握をするとともに、支援時の課題や教訓について調査をしました。

災害時支援検討会では、この調査結果を検証することにより、適切な災害時対応や復興支援等について、今後も検討を重ねていく予定です。

東日本震災から1年を経過した今日、首都圏直下型地震等の予測情報が報道されるなど、いつ大規模震災が首都東京を襲ってもおかしくない状況にあります。

この調査結果が、生衛業による災害時支援、復興対策の一助になり、生衛業の皆様今後の震災への備えに役に立てれば幸いです。

終わりに、大変お忙しいにも関わらず、本調査にご協力をいただきました生活衛生同業組合の方々に深く感謝申し上げます。

平成24年3月

(財)東京都生活衛生営業指導センター

理事長 飛田 英雄

目次

はじめに	
調査の概要	2
I. 東日本大震災により貴組合員が受けた人的・建物・設備等の被害状況について	4
1. 地震による人的・建物・設備の被害状況	4
2. 電力等による営業上の二次被害状況について	8
II. 災害支援について	14
1. 東日本大震災に係る生衛組合の支援活動状況について	14
2. 今後同様な大規模震災が発生した場合の支援について	25
III. 今後、都内で大震災が発生した場合に復旧や復興に向け必要なこと	33
IV. 今後の首都直下型震災への備え（支部としての防災対策）	36
V. その他、上記以外で今回の東日本大震災における自分達の被災や、現地支援を通じて、思ったこと・教訓・反省点・要望等について	43
VI. 東京都生活衛生営業指導センターへの要望事項	51
本調査のまとめ	54
調査票	57

調査の概要

【調査目的】

この調査は、東京都の各生衛業が、東日本大震災に関して自ら被災した状況や、被災地等に支援した諸活動及び振り返って気づいた点、教訓、反省点を取りまとめ、今後の首都直下型震災に備え、生衛業による災害時支援、復興対策に役立てることを目的とする。

【調査の実施者】

財団法人 東京都生活衛生営業指導センター

【調査の実施期間】

平成23年8月22日から平成23年9月30日

【調査の対象】

東京都各生活衛生同業組合の各支部（16組合713支部）

【調査の方法】

各生活衛生同業組合理事長あてに調査の協力依頼及び調査票を送付。各組合からそれぞれの支部長あてに調査票を配布、記入後、指導センターあて郵送により回収

【調査の内容】

平成23年3月11日から8月10日までの、東日本大震災発生から5カ月間における、被害状況や支援等の実施状況等について調査した。（調査表：別添参照）

- I 東日本大震災により貴組合員が受けた人的・建物・設備等の被害状況
 - 1 地震による人的・建物・設備の被害状況について
 - 2 電力等による営業上の二次被害状況について
- II 災害支援
 - 1 東日本大震災に係る生衛組合の支援活動状況について
 - 2 今後同様な大規模震災が発生した場合の支援について
- III 今後、都内で大震災が発生した場合に復旧や復興に向け必要なこと
- IV 今後の首都直下型震災への備え（支部としての防災対策）
- V その他、上記以外で今回の東日本大震災における自分達の被災や、現地支援を通じて思ったこと・教訓・反省点・要望等について
- VI 東京都生活衛生営業指導センターへの要望事項

【回答者数】

305件 回答率 42.8%

●各組合・支部件数、回答支数及び支部内店舗数

組合名	支部数	支部回答数	支部内店舗数	うち店舗数 未記入支部数
1. 鮭商	86	26	402	2
2. 麺類	86	37	926	3
3. 中華料理	51	25	579	3
4. 社交飲食業	30	8	449	
5. 料理	35	6	372	
6. 飲食業	100	34	2,816	2
7. 喫茶飲食	50	22	0	22
8. 食鳥肉販売業	24	6	39	1
9. 氷雪販売業	20	10	55	2
10. 理容	32	25	3,960	
11. 美容	65	25	1,405	2
12. 興業	10	7	84	
13. ホテル旅館	50	12	243	1
14. 簡易宿泊業	6	4	26	1
15. 公衆浴場業	26	26	770	
16. クリーニング	42	32	1,270	2
合計	713	305	13,396	41

(※喫茶飲食は必ずしも支部ではなく個人からの回答含む)

I. 東日本大震災により貴組合員が受けた人的・建物・設備等の被害状況について

1. 地震による人的・建物・設備の被害状況（例 ケガ・ガラス・堀・壁・食器類等）

約6割の組合が、被害ありと回答。食器類の破損、壁やタイルにヒビが入るなどの小・中規模の被害が多く見られるが、中には莫大な工事費用を要するものや、設備損傷等により休業を余儀なくされるケース、実家が流出したなどの甚大な被害も報告されている。

	件数	構成比
1. 少し被害あり（5万円以内）	145	35.5%
2. 中程度の被害（5～100万以内）	76	18.5%
3. 大きい被害（100万以上）	31	7.5%
4. 被害なし	150	36.5%
無回答	9	2.2%
合計	411	100.0%

被害店舗数

	店舗数	構成比
1. 少し被害あり（5万円以内）	869	36.5%
2. 中程度の被害（5～100万以内）	201	8.4%
3. 大きい被害（100万以上）	68	2.9%
4. 被害なし	1242	52.2%
合計	2380	100.0%

（店舗数の無回答 148支部）

具体的内容

鮭商

（単位：件）

食器類の破損（ガラス食器、グラス・とっくりの破損）	5
酒類等の損傷（お客用ボトル・酒ビン、焼酎ビン損傷）	2
建物・壁等の亀裂	3
クロスに亀裂	1
棚のガラス戸が壊れた（ガラス窓破損）	3

麺類

（単位：件）

食器損傷（井ぶり物2、3ヶ損傷する）	2
壁などが剥がれ落ちた	1

ガス漏れの為4日間休業	1
戸の締まりが悪くなった	1
トイレの壁のひび割れ	1
屋上の床にひび	1
外壁のタイルが1枚剥がれ落ちても足場を組まなくてはならないこともあり、5階等では足場だけで200万と聞いている。	1

中華料理

(単位：件)

井の割れ、皿、グラス等の破損、食器の落下等	5
壁面にヒビが入った	2
自動ドアのレールが曲がった	1
什器破損	1
ガス管の損傷（要工事、店臨時休業）	1
スープ類の流出	1
人形ケース落下でガラスの被害	1
妻の実家が流失	1

社交飲食業

(単位：件)

棚上の高級ボトルの破損（約15本）、ケース内のグラス	1
----------------------------	---

料理

(単位：件)

屋根瓦の落下・損壊	2
2～3日後の降雨で客間への雨漏り	1
壁へのシミが発生	1
壁に亀裂	1
食器類・酒類の破損、食器少々、グラス	2
酒（ビン入り）	1

飲食業

(単位：件)

食器等の破損（食器類の落下、食器棚の中のものの落下、皿、グラスの破損、皿の破損、ガラス、置物など）	6
ボトル5本位落下する、棚よりボトル12本落下する	2
机上の物が落下	1
家具等の倒れ	1

喫茶飲食

(単位：件)

壁の損傷（厨房内の壁面のタイルが5～6枚程の落下、外壁タイル損傷（少々）、内壁にひび少し入る）	2
南北に食器戸棚が倒れ、ガラス器など割れた	1
食器類の損傷（ガラス・食器・酒類等）	1
縁石破損	1

食鳥肉販売業

(単位：件)

タイルの落下（トイレのタイルが落ちた）	2
壁にヒビが入っている	1

冰雪販売業

(単位：件)

水道管の壊れ（水道管が切れた）	2
-----------------	---

理容

(単位：件)

ボイラーの破壊、ボイラーパイプの破損、ボイラー等水回り	4
ガラスの被害、店ガラス亀裂、ガラス器具（ガラスが割れ腕にケガ）	4
外壁のヒビ	2
店舗カガミ破損、前鏡1枚にヒビが入った	2
タオルスチーマ倒壊等	1
物が落ちた程度	1
店舗と住まいの合同住宅で、屋根の瓦が壊れてしまった	1
天井・床に亀裂	1
テレビ・仏壇・神棚の落下	1
店入口ドア破損	1
スチーマーの損傷があった	1
レジの落下	

美容

(単位：件)

店舗壁にヒビが入る、天井・壁にひび割れ、建物の損傷（モルタルのヒビ）	7
ボイラー	3
入口近くの前ガラス、2F店舗窓ガラスヒビが入る	3
看板の落下	2
食器類等	1
ショーケース倒れ商品が使用できない	1
自動ドアの異常	1
落下物による損傷（テレビ等の落下）	1
店内の商品が割れた	1
エアコン	1
停電	1
乗物遅延	1
置物破損等	1
ハサミ・ブラシ入の棚の損傷	1

興行

(単位：件)

劇場・入り口・場内壁にヒビ	2
興行回数の短縮や取り止め	1

ホテル旅館	(単位：件)
ビル内壁面に亀裂	2
ボイラー	2
エレベーター停止・故障により営業に支障あり	2
配管の破損	1
舗道との段差（タイル割れ）	1
食堂内シャンデリア部分破損	1
酒瓶等の破損等	1
ガラス	1
簡易宿泊業	(単位：件)
自動ドア	1
給湯器の故障	1
レンガ・外壁の損傷	1
公衆浴場業	(単位：件)
井戸タンク水漏れ・水の濁り	2
鬼瓦破損	1
濾過機の故障	1
タオルの落下	1
配管の破損、ガス管亀裂	1
浴槽の水漏れ等	1
クリーニング	(単位：件)
壁に亀裂が入った、店舗の外壁・モルタルのヒビ及び剥離、タイル剥がれ	4
ドライ機故障	1
玄関のドアが開閉できなくなる	1
瓦屋根ズレ及び落下	1
井戸水使用の店等は茶色の水になった	1
ボイラー煙突	1

2. 電力等による営業上の二次被害状況について

7割以上が「被害あり」と回答。具体的内容については、予約のキャンセル、自粛ムードやイベント等の中止などによるものが多いが、その他の理由が複合的に影響し、結果的に売上や受注の減少につながっているという印象。また、ホテル旅館の外国人客の減少や、公衆浴場業の設備・建物の倒壊・損傷等による業務停止など、各組合独自の被害パターンも見受けられ、注目に値する。

	件数	構成比	店舗数	構成比
1. 被害あり	206	61.1%	2799	74.5%
2. 被害なし	110	32.6%	956	25.5%
無回答	21	6.2%		
合計	337	100.0%	3755	100.0%

・1の被害あり の場合の集計結果

	件数	構成比
1. 売上や受注の減少	112	19.4%
2. 材料や資材の不足	36	6.2%
3. 燃料の不足	19	3.3%
4. 設備や建物の倒壊	13	2.2%
5. 娯楽の自粛等による来客の減少	78	13.5%
6. 予約や受注のキャンセルの発生	84	14.5%
7. イベント中止による仕事の減少	39	6.7%
8. 外国人従業員の帰国等による人員不足	8	1.4%
9. 風評被害	20	3.5%
10. 計画停電による操業停止	38	6.6%
11. その他	28	4.8%
無回答	103	17.8%
合計	578	100.0%

具体的内容

※各組合内で最も多かった被害は**太字**にしています。

鮭商

(単位：件)

- ①売上の減少、自粛ムードによる来客の減少が大きい、来店客減少…………… 5
- ②小ビニールがない、棚の皿やビール・ワインが破損…………… 2
- ③配達に支障…………… 1

④壁が落ちた	1
⑤予約キャンセル多発、外食まで自粛、自粛ムードによる来客の減少が大きい	5
⑥予約のキャンセル、看板等の自粛による来客数の減少、宴会の予約がキャンセルされた、支援による売上減少は国に請求出来るのか、3月中の予約キャンセル90%に達します、キャンセル（4月の中旬まで）	8
⑦予約キャンセル多発、卒園式後のパーティーが中止	2
⑨放射能の被害によるメニューの変更	1
⑩節電、計画停電に操業出来ない、お客様の安全を考えると一時的又は早目の閉店、計画停電により営業できませんでした、停電による売上の減少	5

麺類

(単位：件)

①大震災以前から悪くなっていたがなお売上減少、店、出前の減少、冷房の節約や照明の節約で店に影響を及ぼしました。町中が暗く、商売にも元気がありません	5
②東北からの材料不足、会社に出る人間が少ないとみえて客の減少、食材の不足により他社の食材を使用する事になった。	4
⑤早期退社の為	1
⑥3月中の予約のキャンセル、会社に出る人間が少ないとみえて客の減少、ネット予約キャンセル、予約取消多数	6
⑩計画停電による売上の減少	2

中華料理

(単位：件)

①ネオンをつけることが出来ず来客が減った、震災のため売上や受注の減少、絶対的客数減と家族連れが少なくなった、夜の客数減	14
②材料不足、食材の安全性の為、又、仕入0の商品も一時あった	4
③出前バイクのガソリン不足	1
④設備や建物の倒壊	1
⑤一夜の人の出が減少、酒類の注文の減少、客の減少、節電による夜間外出の減少、来客の減少、お客さんの節約ムードが広がっている	7
⑥サービス業全般、自粛等により予約のキャンセル、宴会のキャンセル	5
⑦宴会需要の減少、行事の中止による来店減少	3
⑧中国の人が帰国して困った（従業員）、外国人従業員（中国人）が多かったが戻ってきた	3
⑨セシウムに関して、風評及び仕入価格の高騰化	1
⑩節電による営業時間の短縮、計画停電による営業の不確定、計画停電による操業停止（電気看板、ウイント、節電した）	3

社交飲食業

(単位：件)

①来客なし、時間の縮小で売上の減少	4
②材料や資材の不足	1
③燃料の不足	1
④設備や建物の倒壊	1
⑤節電による客足の減少、自粛、高齢者が多い為	5
⑥交通事情	2

⑦イベント中止による仕事の減少	1
⑨風評被害あり	1
⑩計画停電等による営業日数	1

料理

(単位：件)

①売上の減少を余儀なくされた	3
②材料や資材の不足	1
③燃料の不足	1
④部屋の壁の亀裂で修繕のため、2ヶ月使用不可→1店、屋根瓦の損傷→1店	2
⑤顧客の自粛ムードの影響が大きくキャンセルにつながった	3
⑥予約のキャンセル→7店、予約や受注のキャンセルの発生	4
⑦イベント中止による仕事の減少	1
⑧外国人従業員の帰国等による人員不足	1
⑨風評被害	1
⑩計画停電による操業停止	1

飲食業

(単位：件)

①売上の減少。小幅ではあるが全体に及ぶ。	10
②材料や資材の不足、棚からのグラス、ウイスキーの落下による被害。	4
③燃料の不足	1
⑤お客様が早く帰宅する、外食をする人が減少した、宴会客の自粛、東六地振興会（組合員50店）のアーチ（入口と出口）の自粛（3/11～9/10迄）の為。	10
⑥祭事、送迎会の中止、予約キャンセル、座敷予約キャンセル、出前予約キャンセル、イベント会場（埼玉スーパーアリーナ）が避難所となり、大会中止による宿泊・食事のキャンセル。3.11当日キャンセル相次ぐ。	13
⑦イベント中止による仕事の減少、組合主催のイベントが2件中止	2
⑧外国人従業員の帰国、従業員が皆な帰国。	2
⑨市場でも福島県産の野菜等は箱から出してビニール袋等に入れて販売している（産地表示×）、殆どの店で何らかの影響あり。風評被害の影響により7時以後は来客がめっきり減った。	4
⑩計画停電（足立区・荒川区）による来客の減少、今だに法人客が戻ってこない状態が続いている。計画停電による為、帰宅するのが早い。停電の時間によって休店が多かった。	4

喫茶飲食

(単位：件)

①交通機関の混乱に依る会社員の出勤時間が遅くなったり、早めの帰宅をしたりの為に来客が減少し、売上が10日間程1日30%マイナス	2
②材料の納入業者が機械の故障等で納品が充分でなかった。食材が入らない。	2
④冷凍ショーケースの足が倒壊した	1
⑤ビルのものすごい揺れに恐れをなして、その時いたお客がリピートしない	1
⑥予約や受注のキャンセル発生	1
⑦各行事や祭礼の中止・縮小により注文がキャンセル、減少した。イベント地元天神祭の中止による売上の減少等	2

- ⑩計画停電の実施かどうかの判断が遅いので、営業を中止することがあった。実際には停電はなかったとか。…………… 1

食鳥肉販売業

(単位：件)

- ①営業自粛…………… 2
 ②材料不足…………… 2
 ③燃料の不足…………… 1
 ⑤**娯楽の自粛等による来客の減少**…………… 2
 ⑥予約や受注のキャンセル発生…………… 1
 ⑤外国人従業員の帰国等による人員不足…………… 1
 ⑥風評被害（野菜）…………… 1
 ⑦計画停電により飲食店の営業時間短縮…………… 1

冰雪販売

(単位：件)

- ①店売の減少、飲食店の利用者が減少した、飲食店で飲み食いするお客が早い時間帯に帰った為、売上が30%程落ちた。…………… 4
 ②原材料も不足気味になり工場の稼働が悪化した…………… 1
 ②燃料の一時高騰、配達の数、祭りの花火がなくなった、ガソリンの不足…………… 3
 ⑤店売、来客の減少…………… 2
 ⑥店舗の閉店が増加した…………… 1
 ⑦**各イベント中止によりキャンセルあり、パチンコ屋等やイベント中止又は減少、祭事の自粛が増加した**…………… 5
 ⑧外国人アルバイトの帰国…………… 1

理容

(単位：件)

- ①売上や受注の減少…………… 3
 ③屋根瓦破損…………… 1
 ④衛生費の切りつめ等により、来客数の減少多々有…………… 2
 ⑥3月11日以降の卒業式の謝恩会等が自粛され、着付やセットのお客様が相次ぎ売上が下がってしまった。結婚式やイベント等の中止で、売上に影響があったと聞きました。／結婚式の延期等によるカットやブライダルシェービングのキャンセル…………… 2
 ⑩**計画停電により営業できなかった店舗が多数**…………… 5

美容

(単位：件)

- ①売上減少／売上や受注がイメージとしてリスクになったようです。…………… 2
 ②カラー剤2液の工場被害により不足…………… 1
 ④PCの落下による破損等／ウィンドーガラス倒壊、ボイラーパイプ破損…………… 2
 ⑤**個々の消費者の自粛意識による経済の萎縮／ほぼ全店来客数の減少／大幅な自粛が尾を引いて客数が少なくなった。**…………… 4
 ⑦卒業式の袴・着物の着付のキャンセル、又、御祝事の延期による来店なし…………… 1
 ⑨風評被害等による経済の萎縮…………… 1

⑩地域によって計画停電あり・なしで、売上に大きく関わりました。／ヘアードイの途中やパーマの後のシャンプーなど。／停電時間は一般美容業が出来なかった…………… 3

興業

(単位：件)

- ①営業時間の短縮／震災直後、10店舗中9店舗が1日～1週間程度休館…………… 2
- ⑤春のアニメ上映中、子供たちの外出を親が控えさせた。…………… 2
- ⑥予約のキャンセル…………… 1
- ⑦学童サークルの団体上映が中止になってしまった。…………… 1
- ⑩計画停電の実施有無の情報があいまいで、営業可否の判断が遅れ、結果お客様への情報提供が出来ず入場者減につながった…………… 1
- ⑪設備点検に休業1W …………… 1

ホテル旅館

(単位：件)

- ①売上・受注の減少／3月～6月までは売上対前年比40～60%、7月～8月になっても売上対前年比50～70% …………… 3
- ②直後のリネン類納品の遅延等…………… 1
- ⑤街自体に人が減ってしまい、来客数は減った…………… 2
- ⑥外人客の渡航中止／ビジネスホテルでは外国人を始め、3月～4月の予約がほぼ無しになった／交通機関のマヒによる出張取消し多発／ホテル柳橋としては、3月11日以後外国人が自国に帰り、予約や受注のキャンセルの発生により、85%稼働率が20%に激変した。…………… 6
- ⑦修学旅行の中止、宴会の減少／神田祭中止等、地元例年行事の中止で観光業全般に影響した… 2
- ⑨原発事故の風評被害／特に外国人受入が皆無／原子力発電所の不安…………… 4

簡易宿泊業

(単位：件)

- ①売上が10%程度まで落ちた。継続出来ない店が出ている。…………… 1
- ⑤来客の減少…………… 1
- ⑥来客の減少…………… 2
- ⑦イベントの中止…………… 1
- ⑨事業継続出来ない店が出ている…………… 1

公衆浴場業

(単位：件)

- ①余震があり入浴という職業のため、全組合員が営業時間を短縮した…………… 1
- ②重油納入不可…………… 1
- ③燃料が入荷しない、ガスの供給が止まった…………… 1
- ④屋根瓦落下、屋根の落下、水タンクの破損、釜水漏れ、上がり湯漏れ、煙突破損、配管破損等、脱衣場・浴室の壁の一部が落ちた、流し場天井破損、ガラス破損、配管破損、窓枠の損傷、柱のゆがみ、ヒートポンプ故障、背景画が剥がれた、濁り水、地下水止まる、温水器枠損傷、漏電、小火災等、バーナー耐震装置不備等、庭の灯籠がずれた、釜場天井コンクリ部分にひび、タイルのひび割れ、浴槽内にひびが入った、ブロック塀にひびが入った、建物の壁等にひびが入った、水槽・釜がゆすぶられて赤水、大量の土砂が貯水槽に入った、水槽の下壁3面全壊、吊り戸4枚開閉できない、揺れで水タンクの水が配電盤にかかった、シャワータンク故障等…………… 22
- ⑩地震による停電で休業…………… 1

①自粛により例年以上の売上減少／外国人を主に泊めているホテルの売上減少……………	4
②材料や資材の不足……………	2
③ガソリンが無く外交できない（初期）／ガソリンがなくて外回りが出来なかった……………	3
④置物が落ちて破損、壁のボードに亀裂が入って（ビルの二階）ガラスが割れる……………	1
⑤景気低迷と消費意欲の減少、自粛ムード／得意先が節電に依り営業を自粛した影響など……………	4
⑦春のイベント中止による、定期的仕事の受注減少／祭が中止になり洗濯物が出なかった……………	3
⑩停電の時間帯は従業員を休みにした……………	1

Ⅱ. 災害支援について

1. 東日本大震災に係る生衛組合の支援活動状況について

(1) 義援金を組合員から集め被災地に送金

被災地組合への送金については、約8割以上が「実施済み」または「継続中」と回答し、全被災者向けの送金についても、約5割以上が「実施済み」または「継続中」と回答していることから、概ね積極的な送金が行われている傾向を見て取れる。

被災地組合へ

	件数	構成比
1. 実施済	229	70.0%
2. 継続中	43	13.1%
3. 検討中	2	0.6%
4. 実施なし	21	6.4%
無回答	32	9.8%
合計	327	100.0%

全被災者向け

	件数	構成比
1. 実施済	127	39.9%
2. 継続中	41	12.9%
3. 検討中	5	1.6%
4. 実施なし	35	11.0%
無回答	110	34.6%
合計	318	100.0%

(2) 店舗に義援金箱を設置し、お客様からの協力をお願いしている

約5割以上が「実施済み」または「継続中」と回答。(1)に続いて、こちらも比較的積極的な傾向を見て取れる。

	件数	構成比
1. 実施済	133	41%
2. 継続中	91	13.1%

	件数	構成比
3. 検討中	4	0.6%
4. 実施なし	85	6.4%
無回答	8	9.8%
合計	321	100.0%

(3) 被災者の生活支援物資の送付 (例 タオル、食材等の生活物資として送付)

約7割弱が「実施なし」と回答。具体的内容としては、タオルや衣類などの日用品を送る事例が多く見られる。その他、それぞれ備蓄した物資など提供可能なものの傾向も組合ごとにさまざままで、中には義援金の直接送付や募金箱を設置するなどの事例もいくつか見られる。

	件数	構成比
1. 実施済	70	22.6%
2. 継続中	10	3.2%
3. 検討中	8	2.6%
4. 実施なし	208	67.1%
無回答	14	4.5%
合計	310	100.0%

具体的内容

鮭商

(単位：件)

- ・物資提供（衣類、タオル、水、石鹼、マッチなど）…………… 2
- ・東京武道館に寿司の出前…………… 1
- ・地域の公営住宅に数十世帯が仮住い中。
- ・レンジ、ポット、掃除機、洗濯機、炊飯器といった家電を購入し寄贈…………… 1
- ・できていない…………… 1
- ・義援金をピンポイントに寄付…………… 1

麺類

(単位：件)

- ・5月15日に当支部員有志10人程度で福島・●市へ、そば100食余の提供に行って来ました。 … 1
- ・タオル…………… 1
- ・本部より組合加入店舗に義援金箱をレジに置くこととして配布済（10円義援）…………… 1

中華料理

(単位：件)

- ・義援金（箱の設置など）…………… 3
- ・東京都食品衛生協会は支部ごと1口20,000。足立支部は3口60,000支援…………… 1
- ・NPOに物資送付

・食材・道具の支援（当組合のOBが岩手、福島、宮城県で営業していたが休店状態に落ち入り）	1
---	---

社交飲食業

(単位：件)

・各店が空箱やペットボトル等の義援金箱を作成し、100店舗より100万を越す義援金が寄せられ、 直接現地に届けた.....	1
・タオル、毛布、生活用品	

料理

(単位：件)

・各個人で.....	1
------------	---

飲食業

(単位：件)

・物資の送付（衣類、ガステーブル等）.....	4
・義援金.....	2

喫茶飲食

(単位：件)

・衣類送付（子供用Tシャツ）.....	1
・コーヒー豆（ドリパック）.....	1
・義援金.....	1

食鳥肉販売業

(単位：件)

・レトルト食品1万食送付.....	1
-------------------	---

冰雪販売業

(単位：件)

・義援金箱の設置（町会、業界、病院内募金箱、神社総代会等）.....	1
・食料品の鮮度維持の為、冷却して保冷材を供給.....	1

理容

(単位：件)

・支援物資送付（生活用品、タオル、ハサミ・バリカンなど理容道具）.....	10
・義援金.....	2
・支援対策委員会を設置.....	1
・個人的に実施.....	1

美容

(単位：件)

・クロス、タオル.....	6
・美容器具（ハサミ、レザーなど）.....	3
・義援金.....	3
・義援金箱設置.....	2
・美容用品、衛生用品など（マスク、消毒、うがい薬）.....	2
・各店舗から本部組合へ.....	2
・必要なものを発送.....	1

興業	(単位：件)
・食料（お米・缶詰）	1
・タオル等	1

ホテル旅館	(単位：件)
・物資送付（アメニティ、日用品など）	2
・食材宅配（水など）	2
・義援金（被災県の組合、赤十字など）	2
・従業員の日償した家族支援、実家支援	1

クリーニング	(単位：件)
・物資送付（タオル1000枚、衣類、オムツ、下着など）	4
・礼服など無料クリーニングをして送付	1
・支援金	1
・組合全体で支援活動をしているため、支部は実施しない	1
・各地域商店街で実施	1

(4) 被災同業者に対する営業資材の送付（例 はさみ、調理器具等の提供）

「被災地の要望を受け入れてから実施する」という声や、差し当り義援金を送るなどの事例も多く、具体的に被災地の状況や要望が掴みきれないほどの未曾有の大災害であったことがうかがえる。また、理容・美容器具の具体的な送付事例等、同業者にしかできない支援が多く見られた。

	件数	構成比
1. 実施済	51	16.7%
2. 継続中	4	1.3%
3. 検討中	10	3.3%
4. 実施なし	221	72.2%
無回答	20	6.5%
合計	306	100.0%

具体的内容

鮪商	(単位：件)
・扇風機10台	1
・被災地の要望を受け入れてから実施する	1
・義援金から補えてもらえば良い	

麺類	(単位：件)
・義援金	1

中華料理

(単位：件)

- ・調理器具の送付…………… 2
- ・全中連を通して協議の上、被害内容情報収集中…………… 1
- ・中華組合で作っている烏龍茶「缶茶」1箱30缶100箱…………… 1
- ・食材…………… 1

社交飲食業

(単位：件)

- ・ゴルフやボーリング大会を通じ、今後も募金活動を続ける…………… 1
- ・調理器具…………… 1
- ・義援金…………… 1

飲食業

(単位：件)

- ・義援金…………… 1

喫茶飲食

(単位：件)

- ・こちらも被災して調理器具等の整理ができていない…………… 1

氷雪販売業

(単位：件)

- ・組合より…………… 1

理容

(単位：件)

- ・理容道具（ハサミ、レザー、くし、刈布など）…………… 16
- ・衛生用品（タオルや消毒など）…………… 8
- ・仮店舗などの設備など（鏡、椅子など）…………… 2
- ・義援金…………… 1

美容

(単位：件)

- ・美容器具（くし、ヘアカラー、コールド液、ハサミ、ドライヤーなど）…………… 11
- ・衛生用品（タオル、クロス、化粧品など）…………… 5
- ・セットイス…………… 2
- ・BA東京へ…………… 2
- ・組合本部へ…………… 2
- ・都環境衛生協会を通じて…………… 1
- ・支部としてはしてない、個人などで…………… 1

興業

(単位：件)

- ・映写機材の送付…………… 1

クリーニング

(単位：件)

- ・米…………… 1
- ・組合全連ではポスター、支援物資の調達

(5) 現地への労務提供

自主的なボランティアとして現地支援に参加した組合員も少なくないが、全体として約8割以上が「実施なし」と回答。やはり、各組合ごとに現実的・物理的な理由などから実際の行動には移れない現状をくみ取ることができる。

	件数	構成比
1. 実施済	22	7.2%
2. 継続中	6	2.0%
3. 検討中	5	1.6%
4. 実施なし	258	84.3%
無回答	15	4.9%
合計	306	100.0%

具体的内容

鮭商

(単位：件)

- ・気持ちはあっても現実は無理です…………… 1

麺類

(単位：件)

- ・組合員数名がボランティアとして現地に出向く…………… 1

中華料理

(単位：件)

- ・支部店舗殆どが家族にて業務、派遣にまで至らず…………… 1
- ・誠に心苦しいですが、義援金で許していただきました…………… 1
- ・片付け及び開店準備の手伝いに行った…………… 1

社交飲食業

(単位：件)

- ・若手の組合員が自主的に被災地にて支援活動に参加…………… 1

飲食業

(単位：件)

- ・個々にボランティア参加している…………… 1
- ・組合員の中のグループ4～5人が被災地で食べ物の炊き出し…………… 1
- ・営業主が高齢。チェーン店は組合加入なし

喫茶飲食

(単位：件)

- ・もともと1人、2人でやっているの店を閉めていく事ができない…………… 1

理容

(単位：件)

- ・理容ボランティア（カット、理容技術提供など）…………… 7
- ・店舗の片づけ…………… 2

- ・青年部を中心に派遣…………… 1

美容 (単位：件)

- ・ボランティア、支援活動など（カットなど）…………… 6
- ・実施済み→少、実施なし→多…………… 1
- ・義援金…………… 1

(6) 雇用の受け入れ

具体的な実施事例も見受けられるが、約8割以上が「実施なし」と回答。多くはその余裕がなく、そもそも受入れる枠がないなどの理由により、それぞれに実施を断念せざるを得ない事情を抱えていることが推察できる。

	件数	構成比
1. 実施済	2	0.7%
2. 実施中	13	4.2%
3. 検討中	19	6.2%
4. 実施なし	256	83.4%
無回答	17	5.5%
合計	307	100.0%

具体的内容

鮭商 (単位：件)

- ・家族経営の為に無理…………… 1

麺類 (単位：件)

- ・売上減少のためその状態ではない…………… 1
- ・福島県の女性1名…………… 1

中華料理 (単位：件)

- ・経営状況の悪化にて人件費にかけられない…………… 1
- ・雇用の受け入れするほど忙しくない…………… 1

飲食業 (単位：件)

- ・個々の店への面接等により採用している…………… 1
- ・わからない…………… 1

喫茶飲食 (単位：件)

- ・余分に人を雇う余裕がない…………… 1

理容	(単位：件)
・ 組合本部とネットを活用し、受入サロンとリンクさせています……………	1
・ 被災者の理容師受け入れ、斡旋（南相馬市の方など）……………	3
美容	(単位：件)
・ 「受け入れ」を出しているがまだ希望者はなし……………	2
・ 組合員がBA東京へ申し込んだ……………	1
ホテル旅館	(単位：件)
・ ハローワーク等……………	1
クリーニング	(単位：件)
・ 宮城県被災者 1 名……………	1

(7) 都内避難者への支援（例 宿泊、入浴、食事、カットサービス、洗濯等の提供）

組合ごとの多様な支援が行われており、例えば、理・美容業におけるカットサービス、公衆浴場業における入浴券の支給などの取組みが積極的に行われている。

	件数	構成比
1. 実施済	47	15.4%
2. 実施中	4	1.3%
3. 検討中	15	4.9%
4. 実施なし	228	74.5%
無回答	12	3.9%
合計	306	96.1%

具体的内容

鮓商	(単位：件)
・ 寿司の出前など（120人分、東京武道館などへ）……………	2
・ 炊き出し……………	1
・ いくつかの支部ではすでに実施済み……………	1
・ 少人数の食事なら可能……………	1
・ 中央区への避難者の数、区でも返答出来ず……………	1
中華料理	(単位：件)
・ 設備なし……………	1

料理	(単位：件)
・各個人で実施	1
飲食業	(単位：件)
・区の食協等を通し避難者との交流	1
喫茶飲食	(単位：件)
・全然わからない	1
理容	(単位：件)
・避難区域外のため	1
・カットサービス（旧赤坂グランドホテル、武道館）	4
・社会福祉会に連絡、避難所に3家族7人とのことで連絡待ち	
美容	(単位：件)
・ボランティアカット（味の素スタジアム）	5
・当区は少ないので多くなれば	1
・多摩地域ですが駅近くで受入可能	1
東京都ホテル旅館	(単位：件)
・11件のホテル・旅館が宿泊を提供	1
・避難者受入施設に登録	1
・6月下旬～10月下旬、避難者の三食付宿泊を受け入れ。一泊6,000円は東京都が助成。	1
・宿泊支援5月→5人、6月→5人、7月→7人	1
興業	(単位：件)
・男子健常者は学校を紹介、女性・高齢者は受け入れ	
公衆浴場業	(単位：件)
・東京都生活文化局をつうじて共通入浴券及び手ぶらセットを支給	26
・入浴、宿泊、朝食提供	1
・足立支部として独自に足立区役所に入浴券5,000枚	1
クリーニング	(単位：件)
・東京武道館に避難している人々のクリーニングを無料でしようと総会で決定したが、辞退された	1

(8) 3月11日発生時東京都内での帰宅困難者への支援

(例 休憩所の提供、トイレの利用、飲料水の提供、営業時間の延長等)

実際に支援を実施したと回答した組合は約2割ほど。その具体的な事例としては、トイレの利用、営業時間の延長なども含めた場所の提供、飲食類の提供などがその大半を占めている。

	件数	構成比
1. 実施した	72	23.5%
2. 実施なし	216	70.6%
無回答	18	5.9%
合計	306	100.0%

具体的内容

鮎商

(単位：件)

- ・トイレ利用……………4
- ・営業時間の延長……………3
- ・飲料の提供（水、茶）……………2
- ・公共交通機関（振替バス）までの送り……………1
- ・場所柄、帰宅困難者等見受けられなかった……………1
- ・泊まり客4名……………1
- ・不明……………1

麺類

(単位：件)

- ・トイレ利用……………4
- ・営業時間の延長……………2
- ・地震後営業を止め、帰宅の人におにぎりを配った……………2
- ・飲料水の提供……………1
- ・味スタへ炊き出し……………1

中華料理

(単位：件)

- ・トイレ利用……………3
- ・営業を続けた（避難主要道路に接する店舗は休憩店舗となるなどの対応）……………4
- ・しなかった……………1
- ・3月11日当日、東京都中華料理組合中華フェアAKIBAの商社会をしていたので、自分が家に帰宅したのは夜の11：30頃でした……………1

社交飲食業

(単位：件)

- ・川越街道沿いで埼玉県方向への帰宅者の休息所を提供した……………1
- ・営業時間延長……………1

料理

(単位：件)

- ・従業員への宿泊等→2店…………… 1
- ・トイレ利用…………… 1
- ・おにぎり…………… 1

飲食業

(単位：件)

- ・営業時間延長、店舗の解放…………… 3
- ・休憩場所提供…………… 2
- ・トイレ利用…………… 4
- ・食事、飲料などの提供…………… 2
- ・常識的に対応…………… 1

喫茶飲食

(単位：件)

- ・営業時間延長、待機など…………… 3
- ・トイレ利用…………… 2
- ・電話使用…………… 2
- ・飲料水などの提供…………… 1
- ・帰宅困難者を区の施設へ車で送った…………… 1
- ・弁当を無償で帰宅者に提供した…………… 1
- ・店内も被災したので支援できなかった…………… 1

食鳥肉販売業

(単位：件)

- ・トイレの利用…………… 1
- ・休憩場所、飲料水の提供…………… 1

冰雪販売業

(単位：件)

- ・休憩所の提供…………… 1

理容

(単位：件)

- ・休憩所の提供、案内…………… 3
- ・交通整理の手伝い…………… 1
- ・トイレ利用…………… 1

美容

(単位：件)

- ・遠方よりの来店客を宿泊させた…………… 1
- ・コーヒー等、通る人に渡した…………… 1
- ・商売がら人の出入りが烈しく、万一の時はお役に立つと思う…………… 1

興業

(単位：件)

- ・未確認…………… 1
- ・休憩場所の提供…………… 1

ホテル旅館	(単位：件)
・トイレ利用	4
・ロビー、レストラン開放	3
・飲料、食料の提供	3
・休憩所の提供	3
・ボイラーが破損し暖房と水道が止まった。一般客に事情を話し、宿泊させた。	1
・営業時間延長	1
・料金サービス	1

簡易宿泊業	(単位：件)
・すべてオープン、利用者少なかった	1
・妊婦、高齢者を優先し宿泊していただいた	1

公衆浴場業	(単位：件)
・トイレ利用	8
・営業時間延長	3
・営業時間短縮	2
・ロビー、脱衣所の解放	2
・食料、飲料の提供	2
・井戸水解放	1
・道案内	1
・休憩所提供	1

クリーニング	(単位：件)
・トイレ利用	1
・飲料水	1

2. 今後同様な大規模震災が発生した場合の支援について

(1) 今後同様な災害が発生した場合、どのような支援が出来るか？

今回の震災経験から、最も身近で具体的な「帰宅困難者への支援」という意見が比較的多く見られる。その他、各組合がそれぞれの分野に相応しい支援方法を挙げている中、義援金などの金銭的支援を挙げる声も多く見受けられる。各組合とも支援については、金銭、物的、は基よりボランティアや後方支援、衛生活動等出来ることは協力したいという熱意が感じられる。

具体的内容

鮭商	(単位：件)
・帰宅困難者への支援（飲食、トイレの提供）	9
・金銭的支援（義援金、赤十字募金、あしなが基金など）	4
・小規店ばかりで何もできない	1

・避難者への食事の提供	1
・衣類などの提供	1
・東京近郊で発生したら支援は不可	1
・現店舗が使用可能な限り、出来ることを全てやる	1
・休憩所の提供	1
・飲料水の提供	3

麺類

(単位：件)

・食事提供や炊き出し（麺類、おにぎり、その他ストック食材の提供）	11
・おそば、うどん、ご飯ものの出来る限りの提供。但し、ガス、水道、電気が使えれば	
・ストック中の食材、粉や米、醤油を提供し、炊き出し等に協力できます	1
・被災地での炊き出し	1
・帰宅困難者への支援（飲食、トイレの提供）	9
・金銭的支援（義援金）	3
・市区町村と協定を結んでいる	3
・その時とならないとわからない	2
・出来る範囲の支援	1
・出来る限りの水、簡単なおにぎり等を出すことが出来るようにしたい	1
・むずかしい	1

中華料理

(単位：件)

・帰宅困難者への支援（飲料水、食事、トイレの提供）	6
・食事提供や炊き出し	3
・炊き出しの支援	1
・金銭的支援（義援金）	4
・その時にならないとわからない	1
・大きなスペースを持つ店舗はなく、帰宅困難者への支援を更に充実させると共に、協力店舗要請と把握	1
・大規模震災が発生した場合、40～50名の組合では無理だと思う	1
・今回実施した支援	1

社交飲食業

(単位：件)

・帰宅困難者への支援（休憩場所、トイレの提供）	3
・質問Ⅱにある様な支援活動を行う予定	1
・金銭的支援（支援見舞金など）	1
・営業時間を延長し、帰宅困難者の休み場所提供	1
・業界次第	1

料理

(単位：件)

・金銭的支援（義援金）	2
・帰宅困難者への支援（飲料水や食物の提供）	2
・地域での炊き出し	1

・自分のことで精一杯	1
------------	---

飲食業

(単位：件)

・帰宅困難者への支援（飲食、飲料水、トイレの提供、店舗解放）	8
・金銭的支援（義援金、現地の飲食店への共済金として役立ててほしい）	4
・各店にある食材にて一時的な支給	1
・各店舗で支援を実施する	1
・検討中	2
・震災時には、できる限り支援していきたい	1
・洋食会の料理人の仲間達と炊き出しを3回実施。1日300人程度延べ10,000人程の洋食を提供した	1
・店舗の開放、飲食物の提供、宿泊場所提供、衛生活動	1
・東京都より支援物資（おにぎり）の要請があったが、自衛隊の輸送手段が折り合わず、結局現地へは届けられなかった。	1

喫茶飲食

(単位：件)

・帰宅困難者への支援（水、トイレ、営業時間延長）	13
・店舗に大きな被害が無ければ休憩場所として提供したい	1
・金銭的支援（義援金）	2
・水、食物の放出	1
・検討中	1
・今回と同様	1
・前回同様、残った弁当を無償提供、トイレ使用可能、休憩して貰う程度	1
・今回は義援金だけだったが、自分の所が何も無かったら（被災）現地のニーズに合わせた支援を心掛けたい	1

氷雪販売業

(単位：件)

・備蓄の純水を飲料水として提供	2
・組合にて早急に立ち上げまとめて支援	1

理容

(単位：件)

・理髪業でのボランティア（調髪サービス、カット、シャンプー）	6
・避難所での調髪サービス等	1
・金銭的支援（義援金）	3
・器具の提供	3
・防災協定に沿って支援	3
・帰宅困難者への支援（トイレ、飲食）	2
・同業者支援。同業者同志でなければ解らない事が多い	1
・食料支援	1
・一時避難所への誘導、避難所でのカットやシャンプー	1
・検討中	1
・支部として対応していない	1

- ・地域の方達と共同で活動する拠点となる…………… 1
- ・今回同様の支援を考えている。東京都として、鏡、クシ、クロス、タオル、レザーをワンセットでリュックに詰め、すぐ営業出来るグッズを送った。現地に理容師が居ることだし、再度応援できたらと思う…………… 1

美容

(単位：件)

- ・帰宅困難者への支援（休憩所、飲料水、トイレの提供）…………… 7
- ・帰宅難民の受入れを1人でも多く助けたい…………… 1
- ・物資支援（衣料品など）…………… 3
- ・金銭的支援（義援金）…………… 3
- ・避難所提供 店内が従業員、お客様（その家族）の休憩場所や避難場所として提供できる…………… 2
- ・美容技術の提供…………… 1
- ・行政との連携による避難場所の指示、ボランティアカット…………… 1
- ・出来る限りのことをする…………… 1
- ・相互扶助、利他の精神でいきたい…………… 1
- ・より早く何ができるか、そして実行できるかだと思う…………… 1
- ・今回と同じ…………… 1
- ・一時滞在…………… 1
- ・支部員に呼びかけ必要な物を集める事や、当日は困っている人を助けることができる…………… 1
- ・遠方だったら後方支援、近方だったらボランティア…………… 1

興業

(単位：件)

- ・帰宅困難者への支援（休憩所、トイレ、飲料、電話（公衆電話））…………… 4
- ・帰宅困難者の受入れ。近隣住民の避難所…………… 1
- ・お客様の避難誘導の徹底。都内の避難者が来た場合、場所を提供する…………… 1
- ・金銭的支援（義援金）…………… 1
- ・企業単位での対応となるため回答できない…………… 1

ホテル旅館

(単位：件)

- ・帰宅困難者への支援（宿泊、水、トイレの提供）…………… 6
- ・宿泊の提供…………… 1
- ・募金活動…………… 1
- ・当日は旅館ホテル内で可能な限り収容する。日数が経った後は、計画的な非難者宿泊の受け入れ…………… 1

簡易宿泊業

(単位：件)

- ・組合より、町会での話し合いで今回より多くの支援が出来ると思う。都内でパニックになるような事より、事後の区・都の支援内容を明確にしてほしい…………… 1
- ・地域が被災すれば他地区の支援は出来ない。先ず宿泊者の安全確保と食糧の手当、これを組合員が一丸となって行なうことだと思っている…………… 1

公衆浴場業

(単位：件)

・帰宅困難者への支援（トイレ、飲料水、休憩所の提供）	21
・脱衣所提供	7
・入浴サービス	3
・店舗営業、営業時間延長	3
・近隣住民等に井戸水提供	3
・浴槽の水の提供（消火活動など）	2
・市区の防災協定に基づく支援	2
・発電機備蓄	1
・全浴場で緊急用食料、飲料水等の備蓄あり	
・トイレの利用、営業時間の延長等を検討中	1
・できることは行いたい	1

クリーニング

(単位：件)

・金銭的支援（義援金など）	6
・クリーニング支援（被災者衣類、介護施設等、下着）	5
・物資の提供（衣類、食料など）	1
・避難場所提供	1
・近所との連携	1
・支部員同士、仕事のやりくりを	1
・ポリ袋配布	1

(2) 支援実施する場合の課題は

正確な情報や具体的な援助内容、優先順位の把握などの情報面での課題、行政や現場との連絡・連携体制の構築、水道や電気等のライフラインの確保、物資や義援金の発送方法の模索など、各組合に共通してみられる課題も多い。

具体的内容

鮭商

(単位：件)

・色々家族従業員と相談、テレビ・新聞等で知り得た情報から内容を検討、支援する。今後について同様の事があった時には、その対応はその時考慮する予定。	1
・送料が課題	1
・正確な情報を入手できること	1
・出来る事を全てやる（現店舗が使用可能な限り、協力できる範囲内で継続的に）	2
・業種別にふさわしい支援を教えてもらいたい。個人的な支援方法がわからない。	1
・ライフラインがストップしたら検討中。	

麺類

(単位：件)

・金銭的支援（募金）	1
・店や家のライフラインの確保	5

- ・食品。飲料などの提供（被災者に対して）…………… 3
- ・炊き出し場所の把握…………… 1
- ・組合で決定したい…………… 2
- ・訓練実施日の設定。区役所では防災訓練実施日を日曜・祝日にするが、日・祝日が休日の店舗は少ないため参加困難…………… 1

中華料理

(単位：件)

- ・都知事や区長からの依頼と承諾、ステッカー等の貼付（災害時協力協定）。
- ・各種団体の多いこと…………… 1
- ・上下水道に問題があれば、トイレ及び飲料水の提供はできないが、店舗前に貼紙にて表示。… 1
- ・本部組合とともに…………… 1
- ・営業時間外にての協力体制と連絡への協力…………… 1
- ・支援に対する意識が低い、金持ちほど…………… 1
- ・中華組合は無理です。町会は行政と訓練していて、災害時協定の締結…………… 1
- ・店のレジにおく…………… 1
- ・組合でまとめるに量的な点…………… 1
- ・資材や燃料を運ぶのに、支部だけでなく本部と支援も必要…………… 1
- ・衛生面での確保及び水の確保…………… 1

社交飲食業

(単位：件)

- ・災害の時間帯によっては支援することが困難となり得るので、それをどの様に対応するのは課題です…………… 1
- ・今回は電力が使用出来たが、出来ない場合は無理…………… 1

料理

(単位：件)

- ・支援の際、それぞれ料亭が通りから脇道にあるため、組合事務所にて対応する方法を考慮中… 1
- ・店内募金箱の設置…………… 1

飲食業

(単位：件)

- ・支援物資の窓口を、学校など支援者の近くの場合に持参できるようにしてほしい…………… 1
- ・物資（お弁当・おにぎり）を配送するにあたり食中毒の問題があります…………… 1
- ・行政との連絡協議や現場との連携連絡…………… 2
- ・都内で直下型が起きた場合、自身の身の安全等で気が回らないのではないかと…………… 1
- ・検討中…………… 1
- ・自店の被害が少ないこと…………… 1
- ・寝具には困る…………… 1
- ・近所力の強化…………… 1
- ・食事の提供など出来る範囲で協力したい…………… 1
- ・組合員全体に対して周知の徹底。…………… 1
- ・食料等の確保。…………… 1
- ・義援金としてではなく、支援金として組合を通じて被災地に直接届けるようにしてほしい…………… 1

喫茶飲食

(単位：件)

- ・寒い季節に発生した場合に、暖をとる手段・方法をどうするか不安…………… 1
- ・組合活動の再認識…………… 1
- ・被災の同業者と営業資材の送付等…………… 3
- ・店頭に並べる…………… 1
- ・状況に応じて出来る事を実施したいと思う…………… 1
- ・翌日の営業をどうするか？…………… 1
- ・ライフラインが止まったら限度があること…………… 1
- ・飲料水やトイレの提供を組合員に呼びかけたい…………… 1

冰雪販売業

(単位：件)

- ・配送は出来ないので取りに来る人に提供。その方法は？…………… 1

理容

(単位：件)

- ・人々の避難や手助け等（人的確保・資材調達など）…………… 4
- ・理容業での場所の提供、確保（現地の利用しが即営業できる態勢を整える）…………… 3
- ・店が被災した場合に他人に支援できるかどうか…………… 2
- ・品物の運送、支援金の送り方…………… 1
- ・葛飾区との防災協定締結済み（葛飾理容組合）…………… 1
- ・正確な情報を早く手に入れ、優先順位をつけて行なう…………… 1
- ・店内にトイレが有る場合のみ…………… 1
- ・検討中…………… 1

美容

(単位：件)

- ・発送場所や発送方法など（義援金、物資など）…………… 4
- ・長期に渡り実施の大切さ…………… 2
- ・同業組合員のコミュニケーションと支援のシステムの合意…………… 2
- ・トイレ、ふとまでは用意していない…………… 1
- ・連絡網の速さ…………… 1
- ・法律や規則の緩和、しめつけが厳しく動きがとれない…………… 1
- ・おしつけにならないように…………… 1
- ・セキュリティーに関して心配はあります…………… 1
- ・その場になって見なければ何が自分に出来るかはわかりません…………… 1
- ・プロの邪魔にならない。…………… 1

興業

(単位：件)

- ・企業単位での対応となるため回答できない…………… 1
- ・劇場そのものが適しているか？構造上の問題…………… 1

ホテル旅館

(単位：件)

- ・組合員に宿泊受け入れの詳細説明（人員制限など）…………… 2

・ペットボトルの用意	1
・国なり都なりの保証規模	1
・電気・ガス・水道の供給、食料とリネン類の調達が不安	1
・宿泊料金	1

簡易宿泊業

(単位：件)

- ・都・区・学校の具体的援助内容を掲示する事
- ・(1)の内容に対して行政がどう対応してくれるか、当組合の担当者を決めて生存者の確認、(1)の食糧等の手当など連絡を密に欲しい

公衆浴場業

(単位：件)

- ・建物の耐震性（老朽化、亀裂、断水）
- ・営業しながらの休憩場所の提供は厳しい（営業時間の延長、帰宅難民か銭湯利用者か区別つかない）
- ・町会、自治会などと協力して行う（人手、非常用電力の確保、水質検査など）
- ・緊急用品を各浴場に設置する
- ・ガス化に伴い燃料置き場が倉庫代わりになる
- ・区と協定を結んでいないので、気持ちとして無料開放したいが
- ・飲料水についてはポンプが動くことが条件
- ・軽傷の人の治療（全浴場に2人ずつ救命講習会を終えています）
- ・日ごろの訓練が大切（飲料水確保、炊き出し、救助訓練など）
- ・災害時に公衆浴場が上記の件で利用できることをPRしておく

クリーニング

(単位：件)

- ・全組合員の協力（義援金箱、各班で分担）
- ・水の確保
- ・支援人員の確保
- ・私たち業界として仕事があるため、自分のことでいっぱい支援は難しい
- ・電気が通じず作業が出来ないこと（インフラ停止）
- ・集配できるかどうか
- ・自店に災害のない場合

Ⅲ. 今後、都内で大震災が発生した場合に復旧や復興に向け必要なこと

(今回の震災から、重要と思われる事項を上位から順に3つ選び記入してください)

総得票数、フリーアンサーともに「安定した電力の供給」などライフラインの確保に関する意見が最も多く見られる。次いで得票数の多かったのが「資金繰りの確保」と「設備の購入や建物の再建」で、フリーアンサーでは生命や人材、人と人のつながりなどを重要視する声も多く見受けられた。

・重要と思われる順に番号を記入

	第1位	第2位	第3位
1. 資金繰りの確保	111	29	33
2. 新たな仕事や取引先の確保	5	14	16
3. 資材や燃料の確保	35	74	36
4. 設備の購入や建物の再建	50	73	59
5. 自粛ムードの解消	7	21	33
6. 従業員の確保	4	5	11
7. 風評の解消	4	12	34
8. 安定した電力の供給	72	58	55
9. その他	0	1	1
無回答	17	18	27
合計	305	305	305

意見

鮭商

(単位：件)

- ・安定した電力燃料の供給が可能ならば対処できる…………… 2
- ・全てにおいて物を行うには先ず人材が第一…………… 1
- ・改修工事がスムーズに出来る様、建築関係者の増加を求めたい…………… 1
- ・生命が1番…………… 1

麺類

(単位：件)

- ・東北地方で生産している物が仕入れできなく大変不便をしている早く復興してほしい…………… 1
- ・停電になったらまったくお手上げ…………… 1
- ・災害復興を早める為重要と思います…………… 1

中華料理

(単位：件)

- ・所有者、占有者の権利を確保した上で、都に一括、一時的に預け、各線引にとられない都市の再建が必要と思います…………… 1

- ・耐震強化…………… 1
- ・営業店舗の高齢化にて、再建より廃業を選択する者が多と思考する…………… 1
- ・どうして良いかわからない…………… 1
- ・ライフラインの早期の復旧を願います…………… 1

社交飲食業

(単位：件)

- ・二次的被害であっても、売上の減少は店舗運営によっては死活問題となり得るので、災害時の国金融資等は、考慮の対象に特例として認めて頂きたい…………… 1

飲食業

(単位：件)

- ・今回の震災で思うことは、東京での事業の再興は難しいのではないかと…………… 1
- ・今回の東日本大震災の被災者は資金や生活費に苦労しているので…………… 1

喫茶飲食

(単位：件)

- ・買い占め対策が必要…………… 1
- ・やはり電力がないと何も出来ない社会になっている…………… 1

食鳥肉販売業

(単位：件)

- ・まず安定した電力の供給…………… 1

氷雪販売業

(単位：件)

- ・どれも重要かと…………… 1

理容

(単位：件)

- ・ライフライン（電力がないと町が暗くなるし、生活が出来ない）…………… 2
- ・人的安全…………… 1
- ・各業種の復旧…………… 1
- ・復興…………… 1
- ・実際の災害現場により異なる…………… 1
- ・地域性のある仕事なので、地域の人たちに営業を通じ安らぎを与えたい…………… 1

美容

(単位：件)

- ・どこに出かけても（ボランティアでも）仕事ができるので、福島と同じ状況下、私は前向きに生きていきたいと考えています…………… 1
- ・生活物資、義援金を平均に渡せるか、どのようにしたらよいか…………… 1
- ・最低限の衣食住。（美容業は電気・ガス・水道がないと仕事が出来ない）…………… 2
- ・他は同等…………… 1

ホテル旅館

(単位：件)

- ・金銭面（売上の大幅な低下による自己資金の欠乏、区の助成金の限度）…………… 2
- ・国の迅速な法整備と実施…………… 1
- ・お客様商売は一旦閉業の可能性も強い…………… 1

公衆浴場場

(単位：件)

- ・燃料、電気及び水の確保があれば営業可能…………… 2

クリーニング

(単位：件)

- ・ライフライン…………… 1
- ・たしかに資金は大切ですが、同時に人と人とのつながりを切ってはいけません。日本会社はここに来ている…………… 1
- ・壊滅的な状況になったら、仕事どころじゃないと思うが…………… 1

IV. 今後の首都直下型震災への備え（支部としての防災対策）

防災訓練等や震災に関する講習会への参加などは比較的進んでいる印象だが、建物の耐震強化及び診断の促進については、実施済が1割に満たない。

また、連絡網の整備が実施済が27%であり、遅れている。

その他、災害時協定の締結については約5割ほどが検討を始めており、その他の各項目でも「検討中」と回答している組合・支部も少なくない。

① 建物の耐震強化の促進

	件数	構成比
1. 実施済	24	7.8%
2. 検討中	85	27.8%
3. 実施していない	173	56.5%
4. 無回答	24	7.8%
合計	306	100.0%

② 建物の耐震診断の促進

	件数	構成比
1. 実施済	21	6.9%
2. 検討中	75	24.6%
3. 実施していない	184	60.3%
4. 無回答	25	8.2%
合計	305	100.0%

③ 燃料や資材等の確保対策

	件数	構成比
1. 実施済	10	3.3%
2. 検討中	75	24.6%
3. 実施していない	186	61.0%
4. 無回答	34	11.1%
合計	305	100.0%

④ 避難場所等の確認・安全対策

	件数	構成比
1. 実施済	71	23.6%
2. 検討中	103	33.8%
3. 実施していない	104	34.1%
4. 無回答	26	8.5%
合計	305	100.0%

⑤ 行政の実施する防災訓練等の参加

	件数	構成比
1. 参加している	145	47.5%
2. 検討中	63	20.7%
3. 参加していない	81	26.6%
4. 無回答	18	5.9%
合計	307	100.7%

⑥ 震災に対する講習会への参加

	件数	構成比
1. 参加している	98	31.9%
2. 検討中	98	31.9%
3. 参加していない	89	29.0%
4. 無回答	22	7.2%
合計	307	100.0%

⑦ 災害時被害対応の組合員連絡網の作成

	件数	構成比
1. 実施済	84	27.1%
2. 検討中	103	33.2%
3. 作成していない	106	34.2%
4. 無回答	17	5.5%
合計	310	100.0%

⑧ 商店街組織等での炊き出し、治安等の体制整備、地域活動

	件数	構成比
1. 実施済	47	15.4%
2. 検討中	103	33.8%
3. 実施していない	134	43.9%
4. 無回答	21	6.9%
合計	305	100.0%

⑨ 支部と都市区町村との災害時協定の締結

	件数	構成比
1. 実施済	66	21.6%
2. 継続中	53	17.4%
3. 検討中	156	51.1%
4. 実施なし	30	9.8%
合計	305	100.0%

⑩ 協定締結済みの場合→協定の見直しは？

	件数	構成比
1. 実施済	18	27.3%
2. 継続中	12	18.2%
3. 実施なし	36	54.5%
合計	66	100.0%

【協定名は？】

鮎商 (単位：件)

- ・ 個店の対応…………… 1

麺類 (単位：件)

- ・ 目黒区災害時応急食糧協力店
- ・ 災害時麺類供給協力店（文京区、江東区、江戸川区）…………… 5
- ・ 自治体との協力（中央区、商店会、自治会）…………… 2

中華料理 (単位：件)

- ・ 足立中華組合は足立区災害時協定の締結、各町会は行政の実施する防災訓練等に参加している 1

料理	(単位：件)
・中央区、組合では無理、町会（町内会）です……………	1
飲食業	(単位：件)
・個店の対応……………	2
・中板橋商店街振興組合……………	
喫茶飲食	(単位：件)
・店主と……………	1
・個店の対応（新宿区）……………	1
冰雪販売業	(単位：件)
・組合より街の町会、区で実施している……………	1
理容	(単位：件)
・災害時における理容サービス業務の提供に関する協定（八王子市、墨田区、世田谷区、台東区）…	12
・災害時防災協定（渋谷区、豊島区）……………	3
・災害時における衛生活動に関する協定書……………	2
・災害時における避難所の理容サービスの提供……………	1
・千代田区、東京都理容生活衛生同業組合、麴町地区、神田地区……………	1
美容	(単位：件)
・BA東京東久留米支部、環協衛生協会……………	1
興業	(単位：件)
・吉祥寺駅周辺混乱防止協議会……………	1
ホテル旅館	(単位：件)
・災害時における宿泊施設・設備等の供給に関する協定（台東区など）……………	4
・東京都観光部、及び東京都ホテル旅館生活衛生同業組合	
・東京都・品川区	
簡易宿泊業	(単位：件)
・江東区高森連合町会……………	1
公衆浴場	(単位：件)
・水の提供（井戸水、飲料、入浴など）……………	6
・災害時における各種使用、提供に関する協定（公衆浴場、井戸水、応急水、生活用水、消火活動への貯蔵水の提供など）……………	13
・災害時浴場開放……………	1
・豊島区災害時対策協定……………	1

- ・23年前に締結しているため、現在区役所と現状に合った形にするため、再締結の話し合いをしている…………… 1
- ・当支部は10市で1支部を形成しているため、積極的なところとそうでないところがある…………… 1
- ・7市で1支部を形成しているのでよくわからないが、武蔵野市とは締結している…………… 1
- ・4市で1支部のため、行政側の温度差がある。町田・稲城。多摩市は締結なし。はある八王子ある…………… 1

⑪ 都市区町村への震災対策要望

	件数	構成比
1. 実施済	12	3.9%
2. 検討中	93	30.5%
3. 取組んでいない	151	49.5%
4. 無回答	49	16.1%
合計	305	100.0%

⑫ 地震保険制度加入促進の検討

	件数	構成比
1. 検討する	33	10.8%
2. 検討中	87	28.5%
3. 取組んでいない	133	43.6%
4. 無回答	52	17.0%
合計	305	100.0%

⑬ 震災への備えに関する自由意見

各支部・商店街等との協力体制や情報網の重要性、電気・ガス等のライフラインや燃料、食料等の確保、従業員・お客様の安全や防災の必要性についての意見が多く見られる一方で、支部間の連携の難しさや地震保険に入れないなど、より具体的な問題点もいくつか見られる。

具体的内容

鮭商 (単位：件)

- ・各商店街と連絡を細かくしたい…………… 1
- ・自然に逆らう事をしない…………… 1
- ・水、食料、電池の保管…………… 1
- ・支部単位については、今後震災を含めた対策を考えていこうと思いました…………… 1
- ・港区は各町会にいろいろ有る…………… 1

麺類 (単位：件)

- ・水、食料品の備蓄（米、そばなど）…………… 3

- ・被害が長期的に及ぶと思われるので、各組合員の地震保険加入促進を早急に検討する。…………… 1
- ・防犯…………… 1
- ・大変なこと、訓練とは違うと思う…………… 1
- ・道路整備のため機械の常備…………… 1

中華料理

(単位：件)

- ・地震保険は営業用施設は加入できないと言われたが…………… 1
- ・各自で取組んでいくしかない、協力の姿勢が世相に足りない…………… 3
- ・自社ビルなので電気・ガス等が止まるとただのコンクリート…………… 1
- ・現74才です。支部青年部に話してまかせるつもりです…………… 1
- ・個人としても義援金の支援、町会・組合からの支援を行う…………… 1
- ・飲料水の確保…………… 1
- ・水を扱う仕事なので、まず火事を出さないこと、消火活動優先…………… 1

社交飲食業

(単位：件)

- ・足立区は地盤が低い為、あらかじめの目標と訓練が必要でしょう…………… 1
- ・電力の確保、燃料の確保が必要…………… 1
- ・基本的に自分の身は自分で守る…………… 1
- ・近日中に理事会に計る予定…………… 1

料理

(単位：件)

- ・営業中の場合を常に考え、顧客の安全の確保、従業員の安全、火災の未然防止を念頭に置いている…………… 1

飲食業

(単位：件)

- ・とにかく身近な人達とお互いに協力し助け合いながら行動する事が、改めて大事な事と感じました…………… 1
- ・支部全体としての防災対策は具体的にナシ…………… 1
- ・日頃からの訓練…………… 1
- ・日頃の気配りやペットボトルに水道水を入れ、毎日交換したりしている…………… 1
- ・借り店舗が多いため、耐震設備等が出来ない…………… 1

喫茶飲食

(単位：件)

- ・検討中…………… 1
- ・特に何もしていないので不安…………… 1
- ・店舗としては地震保険に入れません…………… 1

氷雪販売業

(単位：件)

- ・各組合員の店とは離れているので出来ない。
- ・千代田区、町会の組織に入っているの、地域にて活動してます…………… 1
- ・支部で対策を取るのではなく、個々の会社でそれぞれ検討しております…………… 1

理容

(単位：件)

- ・ 個店・個人にて備えてはいる、近日中には支部として検討したい…………… 2
- ・ 地域の防災訓練は日曜が主体なので参加できない…………… 1
- ・ 生活不自由なよう家・電気・食べ物・着る物を早く与えないと、心のケア・安心感・早く元に戻る気をもつ言葉と協力・努力…………… 1
- ・ 落ち着いて対処…………… 1
- ・ 防災器具の準備。…………… 1
- ・ 今回の3.11で、人と人々が協力し合って生きることを教えられました…………… 1
- ・ 指導センターにて各業種の検討会を開く（23年度小冊誌作成）…………… 1
- ・ 慌てて外へ飛び出さない（ビルからの落下物）…………… 1
- ・ 地域住民を主体とする町会の中で震災対策を実施している。…………… 1
- ・ まず自分を守ること一番、その後組合等のことを考える…………… 1
- ・ 組合員の防災意識を高めていく…………… 1
- ・ 実際にいつ、どこで、どの様な規模で災害が起こるかによる。…………… 1

美容

(単位：件)

- ・ お客様の安全確保…………… 1
- ・ 避難場所の確保…………… 1
- ・ 食料備蓄…………… 1
- ・ 家族、従業員の居場所の確認、集合場所の徹底…………… 1
- ・ どこに出かけても（ボランティアでも）仕事ができるので、福島と同じ状況下、私は前向きに生きていきたいと考えています…………… 1

興業

(単位：件)

- ・ 企業単位での取組となるため回答できない…………… 1

ホテル旅館

(単位：件)

- ・ 震災発生後3日分の水と食糧・ラジオ等常備…………… 1
- ・ 台東区との協定書に基づき救援する…………… 1

公衆浴場

(単位：件)

- ・ 区の施設に備蓄（水・食料等）しているため、区は協定を締結することは考えていない…………… 1
- ・ 銭湯同士の連絡網が生かされなかった…………… 1
- ・ 浴場建物の耐震化への改装…………… 1

クリーニング

(単位：件)

- ・ 消防団分団長をしているので、地域では講習会や訓練に参加・指導しています…………… 1
- ・ 確かな情報と連絡網の確保…………… 1
- ・ 「向う三軒」の協力体制的な対応…………… 1
- ・ 残念乍ら何も検討していない…………… 1
- ・ 私ども支部員の横のつながりをもっと強い物にしたい…………… 1

V. その他、上記以外で今回の東日本大震災における自分達の被災や、現地支援を通じて、思ったこと・教訓・反省点・要望等について

①自分たちが被災して

日頃の訓練や自主防衛の重要性、組織・体制や連絡網の見直しなどについての意見が多いほか、買い占めをしないなど資源や備蓄、帰宅困難者に対する支援や交通整備、電気・ガス等のライフラインに対する意識の高揚なども見られ、今回の震災での経験から得られた教訓も多いことが分かる。

②支援を通じて

行政の対応の遅さに対する要望や意見が多く、どんな支援が必要なのかという具体的な情報や要望が欲しかったという情報伝達不足に対する意見も見られた。

また、具体的な支援の事例や、継続的な支援の必要性についての意見が多く見られるなかで、支援するにもある程度の余裕がなければいけないなど、支援と自分達の営業とのバランスの中で苦悩するような意見もいくつか見られた。

具体的内容

①自分達が被災して

鮭商

- ・被災した場合、銀行も行政も助けてくれない。すべて自己責任であるということ
- ・組織の連絡
- ・支援をした物が手早く処理する事
- ・日頃の訓練は必要だと思った。義援金が早く被災者に渡せないかと思った
- ・来店客の減少による売上減少、運転資金、給与など資金繰りが悪化・回復に時間がかかった事
- ・教訓一ケガをしない事、火事を出さない事
- ・問題点一情報を絶やさない事
- ・反省点一スーパーの買占めがあり品物が手に入らなかった
- ・要望一地域ごとに被災マニュアル本をコンビニでも手に入る様にしてほしい
- ・風評による買い占め（米・日用品・ガソリン等）はしてはいけない

麺類

- ・自分達個人個人で防ぐ方法、備える事が第一だと思う
- ・私は国分寺市役所に出入りするそば店ですが、防災課に属する人員が少なすぎると思うし、そして日頃書面だけのマニュアルでの訓練だけで、本番では対応時間がかかりすぎると思う
- ・電話が通じず家族と連絡がとれず、道路が大渋滞。常日頃、首都直下型震災に備えていつも考えてはいるが、もしインフラが止まったら…。事前に的確な地震情報がほしい
- ・日本人の心を忘れずに行動することが大事
- ・広域避難所も万一の場合のり切れないと感じた。津波の襲来に備え、近くのビルに避難できる様行政で指導して欲しい
- ・なんでも大きな災害には手の打ちようがありません。道路はふさがり火に焼かれ水に流され、生きる為に逃げ回るだけだと思います。少しでも早く災害を察知し、それに備えるよう対策を取るしか仕方がありません。

- ・講習会等で勉強していく
- ・従業員の家の建替（築45年）の相談を受けた

中華料理

- ・停電時の情報の確保の重要性。「やはりラジオ」、TV×、携帯×。
- ・大きすぎる震災のため色々考えることが多すぎてまとまりがありません。
- ・交通、電気の復興
- ・身の回りの安全確認、家族・従業員の安否確認。携帯TELとは別の連絡方法
- ・本人、当日、鶯谷（全中本部）より全交通ストップに困り徒歩にて帰宅したが、殆どの役員は泊まりとなってしまった。安全対策は不可欠だが、情報提供が無く、各自の判断で行動するしかない
- ・災害時支援の基本的対応。
- ・ライフラインの早期の復旧と食材等確保が気になります
- ・風評によると、外国人や退去中の住居に侵入盗難の発生に対しての自主防衛の確保。

社交飲食業

※数字は同意見の数（単位：件）

- ・非常食・飲料水など備蓄品を増やす…………… 2
- ・帰宅困難者の交通対応
- ・建物の定期点検

料理

- ・連絡が取れる様に通信（電話）がすぐに使用できる事が良いと思う
- ・正直、具体的詳細の話し合いは持っていない
- ・ライフラインの復旧が遅い
- ・被害情報の伝達を早く知りたい。法律の規制
- ・生命・生活の確保
- ・慌てず冷静に行動する事を心がける
- ・国の支援を早くやってほしい
- ・被災地・被災者の方々は団結して未曾有の災害に立ち向かっている。それに比して政府・国会の現実感の乏しい集団に憤りを感じる。民主には危機管理能力が乏しく、自民は野党ずれてしまっていて協力姿勢がない。地方自治の大切さを感じる。
- ・立地的に平坦地の為、皆さん心配してないみたい
- ・店内の客の誘導について
- ・震災直後において、食事・飲料水の提供
- ・復興対策の迅速化が求められる
- ・災害時の対応マニュアル等、手引き等の作成
- ・各店舗を開放すべきだった
- ・支援金の現地への支払いが遅い

喫茶飲食

- ・交通、通信網の混乱。帰宅困難者が想像を超える多さにびっくり。
- ・安全の確保

- ・小規模店ばかりなので、自分達が被害にあったら閉店するか、その後どの様に生活を立て直すかしか考えられない。余裕はない
- ・正確な情報、災害時にリーダーとなる人材、行政に頼らないで2～3日は自分達の食料を確保しておくこと
- ・早めの道路規制
- ・未経験の体験で自分を見失ってしまい、天災はいつ起きるかわからないので、日常で常に対策を立てないといけない

冰雪販売業

- ・それぞれの地域によって、地震、津波、火災等ちがうので、其の地域の場所にあった防災訓練が適していると思います。
- ・私個人としては、昭和20年の東京大空襲の時に食事をいただいたのが忘れられないので、国内国外の被災地へ江東区役所より赤十字へ必ず送っている。約56年位。
- ・災害なのであるからキッチンと受け止め、自の力で立ち直るしかない
- ・命を守れば充分

理容

- ・交通網、道路、電車、電気、流通、安全対策（原発、津波、発電所、電車、道路、川）
- ・東京は被害が少なく助かりました
- ・復旧が遅い。何が遅いのか、出来ないのか、検討してほしい
- ・自動車の使用制限の強化は絶対必要
- ・組合員の状況を速やかに情報収集する方法について検討したい

美容

※数字は同意見の数（単位：件）

- ・連絡方法の確保（携帯不通による対応、シミュレーションなどする）…………… 3
- ・地域で協力すること
- ・早期義援金の受け取り
- ・あっち側（被災地）、こっち側と目に見えない線引きがある様でとても残念。復興支援といいながら、愛知県の「福島の花火」の中止！日本ガンバレ！はこっち側のセリフになっている。もはや日本国民は分かち合えないレベルまで下がっているのか？
- ・避難袋を用意する。出かける時は歩きやすい軽い靴を持っていくことをしている
- ・人ごとだと思っていたが、いざ自分がなってみると大変なことがよく分かった
- ・まず逃げることに、安全と思われる場所へ
- ・まずは1人1人1件1件が、災害に対して自立（自己責任）して対応が重要。そして時間の経過と共に、行政の支援を受けるなり対応していく
- ・災害時特例の事前策定（各行政の繋がり）

興業

※数字は同意見の数（単位：件）

- ・お客様の安全確保の重要性…………… 2
- ・買いだめの抑制。
- ・交通機関の迅速な対応と回復。
- ・従業員の安否確認に手間取る→日頃の備えの重要性

- ・行政の専任部門を明確にする（各自治体）

ホテル旅館

- ・特に被災はしていないが、情報の一元化、迅速な伝達が重要だと思う。
- ・日頃の訓練。お客様の生命を守ることが第一。
- ・大震災が起きると特に中小企業は事業継続が困難
- ・ボイラーが地震により移動し、配管がはずれた

簡易宿泊業

- ・行政の対応が遅い、連絡がつかない。
- ・被災地とはまったく関係ない所の買いだめ・買い占めした連中は、十分反省してもらったがよろしい。

公衆浴場場

※数字は同意見の数（単位：件）

- ・浴場施設、設備の耐震化（煙突、タンクなど、商品ケースなど）耐震化…………… 7
- ・入浴中に震災にあった場合のお客様の避難誘導、従業員を含めて訓練をしておく…………… 3
- ・電力がストップした場合、給水ができないので自家発電の設置…………… 2
- ・自分たちが慌てないでいかに対応できるか（十分に対応できなかった）…………… 2
- ・組合員相互の通信網の確立
- ・電気、ガス等ライフラインが完全でないと営業できない
- ・ガス化に伴い、古い煙突を耐震化に伴う経費補助で解決しておいてよかった
- ・どうにか店を開けたものの、地震による恐怖心からか、お客さんが来なかった
- ・非常電源の確保、防災建築の徹底、水資源の重要性を確認した
- ・非常食は大切
- ・地域及び被災者へのPR活動

クリーニング

- ・天災は各自の責任
- ・津波など水の被害、王子支部は荒川があるので注意が必要だと思います
- ・先ず自分を護る事で精一杯だと思う
- ・安全な場所へ避難する、後は様子を見る。
- ・仮設住宅の早期の建設支援等
- ・私個人としてテレビ等で情報は多々入ってきますが、実際にその場にならないと分からないことがたくさんあるのではないのでしょうか。（今だに対岸の火事のように思います!!）不謹慎。
- ・本当に必要な物資がなかなか届かないと思われま
- ・車での外出を控える
- ・組合全体がこの様な事を指針にしていけないので、個人経営の各店舗は考えていないと思われる。組合がこの様な事態になった時の事を考えて内規でも作ればよい
- ・法律等、規制、早く緩和する
- ・明日は我が身

② 支援を通じて

鮭商

- ・ 何事も迅速にしたい
- ・ 募金位しか出来る事がありません。自営の者がボランティアに行く事は店を休まないと出来ない。店を休むと売上がなくなる。時間・生活・お金に余裕がないと支援は出来ないのではと思った
- ・ 同業者への支援（義援金）を続けたい。
- ・ 鮭商組合での被災地への支援は、理事長以下5名位で直接被災地に出向き支援しましたが、町会で集め日赤へ持参した支援金は不透明です

麺類

※数字は同意見の数（単位：件）

- ・ 長期間の支援（5年先まで。義援金箱設置など）…………… 3
- ・ 国政は何事も遅くて話にならない。行政の見直しを求める…………… 2
- ・ 組合員に協力を言っても、言葉だけでのってくれない。そして各人があの団体あの組織と言いつきを言い逃げる
- ・ 自分たちがどのような支援が出来るのか、それをどこに聞けば分かるのか
- ・ 我われが集めた震災基金がはたして現地の組合員に役立っているのかどうか、今も続けてはいるが
- ・ 本部を通して義援金を送ったこと。被災地の組合員はとても喜んだと聞いた。
- ・ 今回私の友人が宮城で被災にあったが、現物支給しようにも、近くの郵便局までで、友人がそこへ取りに行く手段がないという事で、する事が出来なかった
- ・ 必要な物、少しでも早く支援する
- ・ 情けは人の為ならず

中華料理

- ・ 現地では金銭だけでなく、本当は何をして欲しかったのか知りたい（組合として）
- ・ 個人では¥15,500の義援金をしました。どこまで支援が役立ったのか、役立ってくれているのか、これからも大変だと思う。
- ・ たすけ合い
- ・ 組合単位にて神戸大震災の前例にのっとり協力支援をしたが、金品を優先に扱った…赤十字等を通しての義援金の給付遅延は被災者の早急要請に答えるべきと思慮する
- ・ 食の安全、水の安全
- ・ 義援金の窓口が多過ぎるように思えた
- ・ 行政の被災者に対しての支援が遅い
- ・ 先ずライフラインの確立

社交飲食業

- ・ 支援で重要なのは「顔」が見える事で、人と人とのつながりを持って、永い絆を結ぶ点が重要と想える
- ・ 正直に申して現地の人は大変でしょうが、私たちの営業への影響も多大なもので、気持ちは支援出来ても金額的なものは無理です。風評を受けてる私達飲食店も被災をおおっています
- ・ 法の規制等で義援金等の供給が遅れている様だが、臨機応変な対応は必要かと思う

- ・自分達に出来る事を見つけ出す事が大切
- ・中高年以上でも体力のある者はボランティアに行きたいので、行政が安い交通費で支援してほしい（バスをチャーター）

料理

- ・個人的に全被災者向に支援金を送りました（日赤通し）。マスコミによると被災者に届いてないと知り、疑問を感じています

飲食業

※数字は同意見の数（単位：件）

- ・自分たちが被災したつもりで、少しでも支援してあげたい…………… 3
- ・衣類など自宅の近くに支援を出来る場所があれば便利に活用したい
- ・正直、具体的詳細の話し合いは持っていない
- ・まだまだ支援が足りないと思う
- ・必要品の確保
- ・組合を通じてボランティア活動に参加したい
- ・今回の震災に際して、組合本部に依頼にて組合員1店より金額500円を提供しました。又、町会からは自由意志にて提供で1,000をしました
- ・法律等の災害時特例の事前策定
- ・やはりお金が第一と思う。物資は問題が多い
- ・負傷者がいた時、緊急自動車等の連絡が取れなかった。救急車等の充実
- ・国や自治体の規制の整備、作成
- ・ボランティア活動に感謝
- ・義援金の早期の配分
- ・支援金が現地にどのように届いているのか知らせて欲しい

喫茶飲食

※数字は同意見の数（単位：件）

- ・支援物資及び金銭がすみやかに被災者に届くような計画の実施…………… 2
- ・個人は別にして、団体としての災害保険があるといい
- ・とにかく早急な対応
- ・そこまで考えられない（考える余裕はない）
- ・被災地の商品を買う。復興後に被災地を訪れて（旅行など）お金を使う
- ・政府の報道方針がはっきりしない。又、遅い

氷雪販売業

- ・支援に甘えることが一番コワイ
- ・行政の方から具体的な要望を伝えてほしい
- ・水・飲料の確保

理容

※数字は同意見の数（単位：件）

- ・支援や支援金は助かったと思う（営業器具提供など）…………… 3
- ・緊急時において、法と行政の対応に整合性がなく混乱を招いた。行政と業界の連携が全くなかった事

- ・早く元のような幸せな生活に戻ることを希望いたします。国民全員による持てる力を出したい。
- ・旧赤プリのボランティアでは、子供さんを連れた母の姿を多く見ました。将来のある子供に放射能から守りたいという思いが伝わり、多くの子供カットして元気に生きてほしいと感じました。
- ・ボランティアは一生懸命やっているのに、組織が通達が遅い。東京の場合、通達をもっと早く
- ・急に求められても準備出来ないなので物質を留めておく場所が必要
- ・常に日頃から防災意識を高め、自分だけが助かればという感覚を持たない
- ・武道館での理容サービスを行ない大変感謝されましたが、被災者にとっては心のゆとりといえますか、不安が先に立ち、そういう気持ちになれないという方も多勢おりました
- ・募金はスムーズに被災者に届いていない。募金先の赤十字の資金の流れを知りたい。赤十字等の役員の手当にあててるとのうわさも聞くが本当なのか

美容

※数字は同意見の数（単位：件）

- ・対応の遅さ（義援金分配や支援物資の配達）…………… 4
- ・被災地気仙沼へ営業資材を運びましたが、この資材を各人に分けてしまうより、どこか営業できる場所を確保し、気仙沼の被災美容師がそこで仕事ができれば良いと思いました。店舗を作るに十分な営業資材を運びましたから…。
- ・ボランティアカットや支援物資の提供を行ないましたが、現地の同業者と連携を取り、現地の同業者の後方支援としてボランティアカットを行なうようにする。支援物資を持参し、県防災センターに寄附してきたが、同業者用は一部の同業者が使用し、公平さに欠けていた
- ・東京で同じ事が起きた場合の支援は、もっともっと遅いか届かないと思います。自己防衛が大切だと思います
- ・組合として各店舗の義援金集め
- ・個人としてもそうだが、私は支部長として一番嬉しかった事は、支部剰余金の中から110万を義捐できたこと。WIN WINの関係こそこれからの社会の絆となると信じています
- ・継続的支援の必要性
- ・始めだけでなくこれからも要望に応じての支援を考えていきたい
- ・相手を思う気持ちが大切
- ・今回はいくら支援をしても終わりのない事(何年も元には戻らない)。自分達ができることは何か、又、来年の3/11に寄附をするとかアクションを取っていけばいいのかなと思います
- ・年齢を問わず、体力、能力、スキル

興業

- ・協力者及びボランティアの参加呼びかけ

ホテル旅館

- ・宿泊の提供は喜ばれた
- ・日本赤十字へ寄付は不特定多数が相手なので、処理が非常に遅くなる。組合間同志の支援がベストと考える
- ・流通が全部ストップで、支援物資届けられず
- ・義援金を送っても買物する場所も品物もない状態がもどかしかった
- ・料金を安くしたが定員に限度があった

クリーニング

- ・ 様々な状況に対する情報の正確性と対応力の強化
- ・ 個人ではどうにもならない時は、国が何らかの指標を示すべき
- ・ 義援金の早期の配布、(救援物資) 水、食料、寝具
- ・ 支援物資の区別・区分けが大変
- ・ 各店舗各自は地域に於いて支援活動をしている。組合が支援を強いる場合は、その道筋 (もって行き方) を考慮すべきと思われる
- ・ 組合、同業の助け合い

Ⅵ. 東京都生活衛生営業指導センターへの要望事項（要望番号に○印を・複数回答可）

災害時の対応等に関するマニュアル等を作成して欲しいという声をはじめ、全体を通して災害時に役立つ物を作成を求める声が多いほか、各組合間や行政の対応なども含めた情報の受発信に関する要望も多い。なお、指導センターの役割について、何をやっているところかの周知を求める意見も見られた。

	件数	構成比
1. 災害時での各組合の諸情報集約発信	116	16.0%
2. 協定締結における行政との調整等支援	62	8.5%
3. 災害時の対応等マニュアル等手引き類の作成	145	20.0%
4. 緊急時連絡カード、災害時伝言板の利用方法等非常時に役立つ物の作成	116	16.0%
5. 東京都行政機関、日本政策金融公庫等への要望支援	106	14.6%
6. BCP（事業継続計画）等の行政側が推進しようとしている情報の伝達、取り組みへの支援	49	6.7%
7. 最新情報や視野拡大も含めた研修、講演会の開催	65	9.0%
無回答	67	9.2%
合計	726	100.0%

具体的内容

鮭商

- ・国が補助する事
- ・例えば、復興に時間のかかる地域の人達の生活や、仮店舗で営業が出来る様に代替地の推進をしてほしい

麺類

- ・災害時、食材の提供

中華料理

- ・連絡。情報
- ・災害の事について意識を高める教育が必要

社交飲食業

- ・東京都内にもあと何年後には大震災が起きるなどの噂で、毎日が不安の日々です。そんなところの心の持ち方など御指導下さい

料理

- ・ 行政機関からの正しい情報の即時提供を要望
- ・ 緊急運転資金を

飲食業

- ・ 当組合は26社のお弁当製造（都内）の集まりで、被災したところはほとんどないのですが、電力の制限令など実施された場合は非常に困るところです。節電すると温度が上がり食中毒発生になりかねないので、今後の営業指導をお願い致します。
- ・ 業界用語を少なく、一般に具体的わかりやすい資料が必要ではないかと思えます！
- ・ 人命が第一です
- ・ 東京都生活衛生営業指導センターはどのような事をやっている財団ですか？震災後、商工会や各種団体のこの種のアンケートが有りましたが、6ヶ月過ぎて何で今頃という思いです
- ・ こうゆう問題は起こらないと実感がないので、申し訳ありませんがこの位のことしか返答できません
- ・ 組合としての対策を早急に検討する

喫茶飲食

- ・ 災害に対する積立金制度の詳細な検討
- ・ 災害予防の講習会を開催して欲しい

冰雪販売業

- ・ 組合は商品、販売ルート、関係を重点的に行動したほうが、組合員としては其の方がよいと思います

東京都理容

- ・ すべてのことに対し協力します。
- ・ 避難場所が一番に欲しいです
- ・ ①～⑦全てお願いしたいです
- ・ ③については21～23年検討中。ニッポン放送の「理容防災ネットワーク」
- ・ 以前の全協連のカードはどうなったのか立ち消えしている

美容

- ・ 今回のアンケートで、町田組合として行政側と密接な関係を築いていかなければ、と感じました。今後の課題と致します
- ・ 東美同組支部単位より、地域エリア単位の対策が必要なのは
- ・ 何でもかんでも他人に頼らないこと、常に自足を知ること
- ・ センターとしてどれだけの事が出来るのか不明ですので、その辺の情報がほしい

興業

- ・ 企業単位での活動が優先するため、組合は後方支援に徹する

ホテル旅館

- ・災害時の営業指導センターの役割を周知徹底すべき。何をやっている組織なのか全く解らない
- ・研修や講演会が必要

クリーニング

- ・ライフラインに関するマニュアル又は講演会の開催。
- ・各支部のマップを作り、各店舗との連絡は携帯電話も使用不可能の為、メールで伝達をする（我々民生委員としては、要援護者のマップを作成して地域社会の為に頑張っています）

1. 東日本大震災により組合員が受けた被害状況

東日本大震災による都内の生活衛生関係営業（以下「生衛業」）施設の直接的な被害は、建物や設備、器具等の損壊です。壁や床の亀裂など建物構造の被害がすべての業種に共通して発生し、また、各業種ごとにそれぞれの営業施設になくてはならない「商売道具」ともいべき設備や機器、器具類などにかなりの被害が生じました。

これらの直接的な被害に加えて、今回の震災被害の最大の特徴は、その後の営業上の二次被害です。電力使用の自粛にはじまり世の中全体が自粛ムード一色となり、生衛業のあるゆる業種に売上の減少という深刻な被害が長期に及ぶこととなりました。

人々の生活行動が過度の自粛ムードにより凍てついたような状況に陥ったため、飲食店での外食や宴会が敬遠され、映画館・劇場から客が遠のき、さらには理容・美容といった業種までも節約ムードのなかで売上減少をきたすなど、生活に密着したサービスを提供する生衛業にとって震災の二次被害は大きな痛手となりました。

2. 生衛業が行った災害支援活動

(1) 被災地への義援金、生活支援物資の送付

今回の東日本大震災に対して、生衛業の各組合は自主的な判断により店舗等に募金箱を置くなどして義援金集めに取り組み、その多くは直接東北被災地の同業の組合に義援金を送りました。同業の組合間で直接義援金を送ることは、迅速確実に被災者に届けることができ、かつ、受け取る側も同業者からの義援金ということで、大きな励みになったと思われます。

義援金以外にも、タオルやレトルト食品など様々な生活支援物資を被災地に送る取り組みがなされ、直接被災地の組合を訪問して渡したところもありました。

(2) 被災同業者に対する営業資器材等の送付

東北の被災地は未曾有の大災害だったことから、すぐに営業を再開できる同業者は極めて少なかったと思われます。このため、営業に必要な資器材を被災地の同業者に送ろうとしても、そのニーズの有無も把握できない状況であったことが伺えます。しかし、こうした中でも理容や美容の組合がハサミ、くしなどの資器材や、セット椅子、鏡など仮設店舗に必要な設備機器を送る活動を行い、また、中華料理組合が調理器具を送り、興業場組合が映写機を送るなど、同業者の営業再開を積極的に支援する活動が見られました。これらは、災害時に生衛業の同業者にしかできない支援という意味で、今後の支援策のあり方を考える上で重要な事例であったと思われます。

(3) 都内避難者への支援

東北の被災地から一時的に都内に避難した被災者に対して、さまざまな支援が行われました。主な活動は東京武道館や味の素スタジアムなどの施設に集団避難している被災者に対するサービスの提供や、ホテル・旅館を避難者受入施設として提供、公衆浴場入浴券の支給などです。これらの中には行政と協定を結び費用負担などを明確にして取り組んだ事例もありますが、行政との協定に基づく支援活動は、組合のみの自主的な支援活動と比べて組合側の負担が総じて軽減され、組合員の参加・協力も得られやすいと思われます。

(4) 都内帰宅困難者への支援

3月11日の東日本大震災当日は都内においても多数の帰宅困難者が発生しましたが、生衛業の各営業施設・店舗においてはトイレ利用や営業時間の延長、休憩場所の提供など、本調査に回答のあった支部の23.5%が何らかの支援を実施しました。このことは、生衛業が日常的に接客サービスを最も得意とする業態であり、災害時においても帰宅困難者に対して臨機応変で柔軟な支援が都内の多くの営業施設・店舗でなされたものと評価できます。

(5) 今後の支援のあり方と課題

今回、震災被災者に対して様々な支援活動に取り組んだ生衛業の各組合や、必ずしも支援活動に積極的に取り組むことができなかった組合から、今後の災害時支援活動について、多くの回答、意見、要望が寄せられました。

まず、どのような支援活動が出来るかという問いに対しては、今回の実施結果と同様に、帰宅困難者への支援や義援金などの金銭的支援という回答が最も多く、これらは迅速かつ効果的に取り組める活動と思われます。特に帰宅困難者支援については、各業態の特性を活かした様々なサービス提供、施設提供の意向が示されており、生衛業の今後の支援活動を検討するうえで、重要な位置付けができると考えられます。また、炊き出しや理容・美容等のサービス技術の提供など、それぞれの組合員の職人技術を活かしたサービスを提供するという回答も多く、これらのサービス提供は心身ともにづらい生活を強いられている被災者から喜ばれる生衛業ならではの支援活動といえます。

次に、生衛業がこれらの支援活動を行っていくうえでの課題についても、様々な意見が出されました。災害支援活動に取り組むためには、電気・ガス・水道などのライフラインが確保されているか否かに大きく影響されること、被災状況や被災者に関する情報の把握が難しいこと、行政との協定が結ばれていないとどこまで支援活動を行っていいのか判断が難しいこと、組合員の連絡網が整備されている必要があること、などが挙げられています。

3. 首都直下型地震への備え

今後の首都直下型地震を想定した備えについては、建物の耐震化対策が実施済みと回答があったのが1割にも満たないことに象徴されるように、全体としては取り組みが遅れていることは否めません。これは、単に危機意識が低いという問題ではなく、例えば生衛業の中には、ビルのテナントとして入居しているケースも多く、このような場合は営業者の意思だけで耐震化工事を行うことが儘ならないという、組合員が置かれている状況にも起因していると考えられます。

一方、防災訓練には半数近くが参加しており、このようなソフト面での備えについては、取り組みをさらに強化することは決して難しいことではないと思われます。

また、都や区市町村との災害時協定締結については、公衆浴場やホテル旅館、理容などの組合は、他の組合に比べて実施済みが多い傾向にあります。このことから行政との協定締結になじみやすい支援活動内容であれば、協定が結ばれやすいが、支援活動が明確になりにくい業種では、協定締結が進みにくいといえます。さらに、すでに協定が締結されている場合に関して、その後の協定の見直しが行われていないケースが過半数に及んでいますが、これらの中には長期にわたって見直しされることなく「眠っている」ような協定もあると思われます。いざという時に役に立たない協定となっていないか、定期的な見直しの検討が望まれます。

4. 東日本大震災における被災や支援を通じての自由意見

今回の東日本大震災では、東京の生衛業の組合は自らの営業施設・店舗が被災し、さらに東北の被

災地・被災者に対して支援活動を行うという、いわば被災者と支援者の両面の立場を経験したことになります。これらの経験を通じて組合員の方々から感想・教訓・反省点・要望等が多数寄せられました。全体として、各組合が今後いつ起きるかもしれない大震災に対して、何とか対策を講じていきたいという熱意が感じられるものとなっています。またその反面、組織や行政に対して期待が持てないなどの理由から、あきらめ的な意見が出されたことにも注視する必要があります。

次に、寄せられたご意見の主なものをまとめてみました。

○いざという時の客の安全確保について検討しておく必要がある。例えば公衆浴場において入浴中の客をどうやって避難させたらいいのかという問題。

○訓練の必要性を痛感した。地域の実情にあった訓練を、そして従業員も含めた訓練が必要。

○組合員の連絡網の整備や、組合員の被害状況を速やかに情報収集する方法を検討する必要がある。

○被災地にボランティアで支援に行きたいが、自営業者は店を休む余裕がない。募金ぐらいしかできない。

○組合を通じてボランティア活動に参加したい。

○被災地に送った営業用の資器材が、現地で公平に配られて効果的に使用されているのか疑問な点もあった。

○組織の連絡通知が来るのが遅いことが多かった。

○行政と業界の連携があまり見られなかった。

これらの意見は、今後、生衛業の各組合として災害対策を検討していくうえで貴重な意見とされます。

この項の最後に、都内の被災者に対する理容のボランティア支援を行う中で、被災者のつらい思いが伝わってきたという感想を紹介させていただきます。被災者と向き合う支援という意味で、心打たれるものがあります。

「旧赤プリのボランティアでは、子供さんを連れた母の姿を多く見ました。将来ある子供に放射能から守りたいという思いが伝わり、多くの子供のカットをして、元気に生きてほしいと感じました。」

5. 東京都生活衛生営業指導センターへの要望

今回のアンケート調査の最後に、生衛業が災害対策に取り組むうえでの東京都生活衛生営業指導センターに対する要望を伺いました。

「災害時支援対策」という課題は、当センターのこれまでの本来業務とはやや異なるものではありませんが、この取り組みに対してマニュアル等の作成や情報集約、行政機関との橋渡しなどについて要望・期待が寄せられました。また、当センターの存在や役割等について、各組合の支部レベルや組合員レベルでの理解が必ずしも高くないことも寄せられた意見から推察されました。今後、これらの要望や期待を受け止めて、当センターとして生衛業における災害対策の取り組みを、着実に推進させる役割を果たしていく必要があると考えます。

東日本大震災に係る支援等実施状況調査票

組合・支部名	同業組合	支部	支部内店舗数	店舗
連絡先・記入者名	TEL		氏名	

この調査は、東京都の各生衛業が、東日本大震災に関して自ら被災した状況や、被災地等に支援した諸活動及び振り返って気付いた点、教訓、反省点をとりとまとめ、今後の首都直下型震災に備え、生衛業による災害時支援、復興対策に役立てることを目的とするものです。

調査対象は、各生活衛生同業組合の各支部長様とし、支部内の状況について、把握されている範囲内で、各項目に○印又はご記入によりご回答ください。

調査基準日は、3月11日から8月10日までの発生から5カ月間の事項です。

提出期限は、9月30日です。同封した封筒でご返送ください。

㊤ 下記Ⅰは、被害区分ごとに、把握されている支部内の店舗数もご記入ください。Ⅱは、原則支部としての活動ですが、(6)(8)等支部としてではなく、支部内の各店独自の場合は、その店舗数も番号の下に記入下さい。

Ⅰ、東日本大震災により貴組合員が受けた人的・建物・設備等の被害状況について

1、地震による人的・建物・設備の被害状況 (例 ケガ、ガラス、塀、壁、食器類等)

1	少し被害あり	2	中程度の被害	3	大きな被害	4	被害なし
---	--------	---	--------	---	-------	---	------

金額換算で (5万円以内) (5~100万円以内) (100万円以上)

・具体的内容を簡単に記入 (特徴的な事等)

被害店舗数

1	店	2	店	3	店	4	店
---	---	---	---	---	---	---	---

2、電力等による営業上の二次被害状況について

(①売上や受注の減少、②材料や資材の不足、③燃料の不足、④設備や建物の倒壊、⑤娯楽の自粛等による来客の減少、⑥予約や受注のキャンセルの発生、⑦イベント中止による仕事の減少、⑧外国人従業員の帰国等による人員不足、⑨風評被害、⑩計画停電による操業停止、⑪その他)

1	被害あり	2	被害なし
---	------	---	------

店舗数 (店) (店)

・1の被害あり の場合上記の番号と具体的内容を簡単に記入

Ⅱ、災害支援について

1、東日本大震災に係る生衛組合の支援活動状況について

(1) 義援金を組合員から集め被災地に送金

被災地組合へ	1	実施済	2	継続中	3	検討中	4	実施なし
全被災者向け	1	実施済	2	継続中	3	検討中	4	実施なし

(2) 店舗に義援金箱等を設置し、お客様からの協力をお願いしている

1	実施済	2	実施中	3	検討中	4	実施なし
---	-----	---	-----	---	-----	---	------

(3) 被災者の生活支援物資の送付 (例 タオル、食材等の生活物資として送付)

1	実施済	2	実施中	3	検討中	4	実施なし
---	-----	---	-----	---	-----	---	------

・ 具体的内容を簡単に記入

(4) 被災同業者に対する営業資材の送付 (例 はさみ、調理器具等の提供)

1	実施済	2	実施中	3	検討中	4	実施なし
---	-----	---	-----	---	-----	---	------

・ 具体的内容を簡単に記入

(5) 現地への労務提供 (例 避難所での作業、被災者の店舗の片付け等)

1	実施済	2	実施中	3	検討中	4	実施なし
---	-----	---	-----	---	-----	---	------

・ 具体的内容を簡単に記入

(6) 雇用の受け入れ (例 被災者の就業確保)

1	実施済	2	実施中	3	検討中	4	実施なし
---	-----	---	-----	---	-----	---	------

・ 具体的内容を簡単に記入

(7) 都内避難者への支援 (例 宿泊、入浴、食事、カットサービス、洗濯等の提供)

1	実施済	2	実施中	3	検討中	4	実施なし
---	-----	---	-----	---	-----	---	------

・ 具体的内容を簡単に記入

(8) 3月11日発生時東京都内での帰宅困難者への支援 (例 休憩場所の提供、
トイレの利用、飲料水の提供、営業時間の延長等)

1	実施した	2	実施なし
---	------	---	------

・ 具体的内容を簡単に記入

2 今後同様な大規模震災が発生した場合の支援について

(1) 今後同様な災害が発生した場合、どのような支援が出来るか？

- ・ 具体的内容を簡単に記入 (今回実施した支援やこんなことが出来る等)

(2) 支援実施する場合の課題は

- ・ 具体的内容を簡単に記入

III、今後、都内で大震災が発生した場合に、復旧や復興に向け必要なこと

(今回の地震から、重要と思われる事項を上位から順に3つ選び記入して下さい)

- ①資金繰りの確保 ②新たな仕事や取引先の確保 ③資材や燃料の確保
- ④設備の購入や建物の再建 ⑤自粛ムードの解消 ⑥従業員の確保
- ⑦風評の解消 ⑧安定した電力の供給 ⑨その他()

- ・ 重要と思われる順に番号を記入
- ・ ご意見

第1位		第2位		第3位	
-----	--	-----	--	-----	--

IV、今後の首都直下型震災への備え (支部としての防災対策)

① 建物の耐震強化の促進	1	実施済	2	検討中	3	実施していない
② 建物の耐震診断の促進	1	実施済	2	検討中	3	実施していない
③ 燃料や資材等の確保対策	1	実施済	2	検討中	3	実施していない
④ 避難場所等の確認・安全対策	1	実施済	2	検討中	3	実施していない
⑤ 行政の実施する防災訓練等の参加	1	参加している	2	検討中	3	参加していない
⑥ 震災に対する講習会への参加	1	参加している	2	検討中	3	参加していない
⑦ 災害時被害対応の組合員連絡網の作成	1	実施済	2	検討中	3	作成していない
⑧ 商店街組織等での炊き出し、治安等の体制整備、地域活動	1	実施済	2	検討中	3	実施していない
⑨ 支部と都市区町村との災害時協定の締結	1	締結済	2	検討中	3	実施していない

協定名 _____

⑩ 上記協定の見直しは	1	実施済	2	検討中	3	実施していない
⑪ 都市区町村への震災対策要望	1	実施済	2	検討中	3	取組んでいない
⑫ 地震保険制度加入促進の検討	1	検討する	2	検討中	3	取組んでいない
⑬ 震災への備えに関する自由意見 ・具体的内容を簡単に記入						

V、その他、上記以外で今回の東日本大震災における自分達の被災や、現地支援を通じて、思ったこと・教訓・問題点・反省点・要望（例 法律の規制、道路の規制等の緩和、法律等現行規制の災害時特例の事前策定等）等について

- ①自分達が被災して
・具体的内容を簡単に記入

- ②支援を通じて
・具体的内容を簡単に記入

VI、東京都生活衛生営業指導センターへの要望事項（要望番号に○印を・複数回答可）

- ① 災害時での各組合の諸情報集約発信
 - ② 協定締結における行政との調整等支援
 - ③ 災害時の対応等マニュアル等手引き類の作成
 - ④ 緊急時連絡カード、災害時伝言板の利用方法等非常時に役立つ物の作成
 - ⑤ 東京都等行政機関、日本政策金融公庫等への要望支援
 - ⑥ B C P(事業継続計画)等の行政側が推進しようとしている情報の伝達、取り組みへの支援
 - ⑦ 最新情報や視野拡大も含めた研修、講演会の開催
- ・その他具体的内容を簡単に記入

ご協力ありがとうございました。

本調査実施機関 東京都生活衛生営業指導センター
TEL 3 4 4 5 - 8 7 5 1 FAX 3 4 4 5 - 8 7 5 3

東日本大震災に係る支援等実施状況調査 調査結果の概要 平成24年3月

財団法人 東京都生活衛生営業指導センター
〒113-0022 東京都渋谷区広尾5-7-1 東京都広尾庁舎内
電 話 03-3445-8751
F A X 03-3445-8753

E-mail tokyocenter@seiei.or.jp
U R L <http://www.seiei.or.jp/tokyo/>
